

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|---|---------|--|------------------|---|----------|------------------|--|------------|--|--|-----------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | 「特産品協会だより」発行事業 | 18年度～ | 会員相互の情報交流を深め、より売れる特産品づくりを促進するため、消費者ニーズ、流通動向、商品開発に関する情報を会報誌「鹿児島県特産品だより」として提供する。 | — | 会員相互の情報交流を深め、より売れる特産品づくりを促進するため、消費者ニーズ、流通動向、商品開発に関する情報を会報誌「鹿児島県特産品だより」として提供した。 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | |
| 2 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | ○ | | かごしまの特産品モニター活用事業 | 23～28年度 | 消費者のニーズに対応した特産品開発を推進する。 | — | 多様化する消費者ニーズを的確に捉えたモノづくりを推進するため、特産品モニターによる評価等を聴取する求評会等を開催した。 | ○ | — | — | 事業終了 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | 消費者民間企業等 |
| 3 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | 「きりり輝け！モノづくりセミナー」事業 | 24年度～ | 「安全・安心なモノづくりを支援するため、県内特産品製造業者や団体等を対象に、流通・販売、デザイン、関係法令等の専門家によるセミナーを開催する。 | — | 安全・安心なモノづくりを支援するため、県内特産品製造業者や団体等を対象に、流通・販売、デザイン、関係法令等の専門家によるセミナーを開催。 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | |
| 4 | | 1 | 1 | 1 | 2 | | ○ | | 特産品コンクール開催事業 | 2年度～ | 県内で新たに開発・製造・改良された商品のコンクールを開催し、生産者の技術向上と商製品開発意欲の高揚を図るとともに、入賞商品を広くPRすることにより、販路の開拓を図る。 | 1,100 | 1 実施方針 コンクールの開催と県内外における入賞商品PR 2 スケジュール (1) 出品商品募集(7月～9月) (2) コンクール開催(10月) (3) 入賞商品展示・販売会(10月～3月) | ○ | 1,100 | 1 実施方針 コンクールの開催と県内外における入賞商品PR 2 スケジュール (1) 出品商品募集(6月～8月) (2) コンクール開催(10月) (3) 入賞商品展示・販売会(10月～3月) | 継続予定 | — | かごしまの新特産品コンクール実行委員会(鹿児島市鹿児島県(公社)鹿児島県特産品協会) | |
| 5 | | 1 | 1 | 1 | 2 | | ○ | | よかもん自慢支援事業 | 25年度～ | 「かごしまの新特産品コンクール」において、市長賞等を受賞した商品を対象に、受賞者が受賞商品の販路拡大を図る際の経費を助成する。 | 300 | 1 実施方針 コンクール開催後、市長賞及び県知事賞等の受賞者に対し助成(受賞した翌年度まで実施する事業に限る) 2 事業実績 (1)補助件数:2件 (2)交付額:300千円 | ○ | 600 | 1 実施方針 コンクール開催後、市長賞及び県知事賞等の受賞者に対し助成(受賞した翌年度まで実施する事業に限る) 2 スケジュール (1)コンクール開催(10月12日) (2)当年度受賞者に対する助成(10月～) | 継続予定 | — | 産業支援課 | |
| 6 | | 1 | 1 | 1 | 2 | | ○ | | メディア等活用宣伝事業 ※H25までは「観光かごしまプロモーション事業」 | S55年度～ | 観光客の一層の誘致を図るため、本市観光の魅力を雑誌広告やテレビCMなど、あらゆる媒体を活用しながら、宣伝広報を行う。 | 39,239 | ・メディアミックス テレビスポット、テレビ番組制作放映、交通広告、パンフレット制作、Webプロモーションの実施 ※効果的・効率的な広告媒体やエリア等について検討する。 ・広告 地域情報誌等広告 ・観光DVD 日本語版情報更新、活用 ・観光HP 観光ホームページの運営 | ◎ | 39,131 | ・メディアミックス テレビスポット、テレビ番組制作放映、交通広告、Webプロモーションの実施 ※効果的・効率的な広告媒体やエリア等について検討する。 ・広告 地域情報誌等広告 ・観光DVD 日本語版情報更新、活用 ・観光HP 観光ホームページの運営 | 継続予定 | — | 観光プロモーション課 | |
| 7 | | 1 | 1 | 1 | 2 | | ○ | | 首都圏における“食の都かごしま”プロモーション事業 | 28年度～ | 首都圏で“食の都かごしま”の魅力を発信し本市のシテセールスを行うため、鹿児島島の食材を使ったフェアや試食会等を実施する。 | 6,151 | ・“食の都かごしま”フェアの開催(1/31) ・“食の都かごしま”フェア試食会の開催(2/1～3/3) ・各種媒体を活用した情報発信(1～2月) ・ワールドフェスタ・ヨコハマ2016への出展(10/8,9) | ◎ | 6,272 | ・“食の都かごしま”フェアの開催(1～2月頃) ・“食の都かごしま”フェア試食会の開催(12～1月頃) ・各種媒体を活用した情報発信(11～1月頃) ・首都圏開催イベントへの出展(10月) | 継続予定 | — | 東京事務所 | |
| 8 | | 1 | 1 | 1 | 2 | | ○ | | アンテナショップ機能強化事業 | 元年度～ | 鹿児島市(産業会館)と東京(遊楽館)の鹿児島ブランドショップにおいて、本県特産品の総合展示や宣伝・販売を行い、特産品の「鹿児島ブランド」確立や販路拡大を図り、本県特産品の振興による地域産業の発展に寄与する。 | — | 1 生産者や企業団体等と連携した本県特産品の総合展示、宣伝・紹介及び販売 2 特産品コンクールの入賞商品や旬の特産品のタイムリーな展示、宣伝紹介及び販売 3 インターネットによる宣伝・紹介、モニターによる特産品への求票等 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | |
| 9 | | 1 | 1 | 1 | 2 | | ○ | | ふるさとかごしま物産展開催事業 | 21年度～ | 県民に本県特産品等に対する理解と認識を深めてもらい、県産品の利用促進及び観光客の誘致を図る。 | — | 9月、山形屋において、県内の特産品、特に今回は「鹿児島島の黒の特産品」や「モノづくりに取り組む女性」にスポットを当てて開催した。 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | 団体、民間企業等 |
| 10 | 拡充 | 1 | 1 | 2 | 1 | | ○ | | フードビジネス推進事業 | 27年度～ | かごしまの豊かな農林水産資源や食品加工技術等を生かしたこだわりのある新商品等開発を促進するため、人材育成を通じて商品開発プランの作成から、食品関連製造業者等の商品開発、マーケティング・販路開拓までを一貫して支援する体制を構築し、域外への販路拡大や“食の都”としてのブランド力の向上を通じて、食品関連産業の振興を図る。 | 10,587 | (1)新商品開発ハンズオン支援 ・参加者:3事業者 ・内容:専門家による新商品開発等に係る個別支援 (2)商談会事前対策セミナー ・参加者:26名 (3)フードビジネス交流会 ・参加者:58事業者 ・内容:事業者間マッチングやバイヤーとの商談等 (4)個別相談会 ・参加者:3事業者 ・内容:販路開拓等に関する専門家による個別相談(各5回) (5)コーディネーターの配置 ・内容:商品開発のアドバイス等 ・実績:70事業者を支援 (6)新商品開発に対する補助金 ・内容:新商品開発に対する補助(3事業者) ・上限50万円、補助率2/3 | ◎ | 10,234 | (1)新商品開発ハンズオン支援 ・参加者:3事業者 ・内容:専門家による新商品開発等に係る個別支援 (2)商談会事前対策セミナー ・参加者:20事業者25名 (3)事業者間マッチングセミナー、ワークショップ ・参加者:25事業者(予定) ・内容:事業者間マッチングによる商品開発等の有効性や具体的なマッチング手法の知識について学ぶためのセミナー及びワークショップ(1回) (4)個別相談会 ・参加者:3事業者 ・内容:販路開拓等に関する専門家による個別相談(各5回) (5)コーディネーターの配置 ・内容:商品開発のアドバイス等 (6)新商品開発に対する補助金 ・内容:新商品開発に対する補助(3事業者) ・上限50万円、補助率2/3 | 拡充予定 | ・商談力アップセミナー(H29までの「商談会事前対策セミナー」、 「個別相談会」を統合し内容を変更) | 産業創出課 | 市町村、民間企業等 |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 | | | |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--|---------|--|------------------|--|----------|------------------|---|------------|---|-----------------------------|---|---|----------|--|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | | | | |
| 11 | | 1 | 1 | 2 | 2 | ○ | ○ | | 地域資源活用・農工商連携促進プログラム事業 | 20~29年度 | 多種多様な本県の地域資源の、より効果的な活用や新たな地域資源の開発による新事業創出、農林水産業者との連携により互いの経営資源を活用した新商品、新サービスの開発に向けて中小企業等が行う研究開発、試作品製作、販路開拓等を支援し、起業化や新事業の展開を促進する。 | 5,948 | 助成件数 新規 3件(2,948千円) 継続 1件(3,000千円) | ○ | 8,869 | 助成計画件数 新規 2件 継続 3件 | 継続予定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(産業振興課) | 県、大学、公設試等 | | | |
| 12 | | 1 | 1 | 2 | 3 | ○ | | | アグリクラスター構想事業 | 18年度~ | ①「地産・地消」への取り組み ②「商品力向上・販路拡大」への取り組み(ビジネスマッチング) | — | 【平成28年度開催実績】 ・国内商談会4回 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 鹿児島県アグリ&フード金融協議会(国内商談会開催のみ) | 鹿児島銀行、鹿児島相互信用金庫、鹿児島信用金庫、奄美大島信用金庫、鹿児島興業信用組合、奄美信用組合 | | | |
| 13 | | 1 | 1 | 3 | 2 | ○ | | | 食品関連産業経営者塾事業 | 26~28年度 | 食品関連企業の経営力強化を図るため、経営者向けセミナーを実施するとともに、魅力ある商品づくりや商談会の開催など販路開拓を支援する。また、食品関連企業の経営戦略や営業、ブランディングなどの課題解決を支援するため、専門家チームを派遣する。 | 55,832 | 1 マーケティング強化セミナー 最新の流通情報、市場動向、価格設定、営業戦略、パブリシティなど3回×3箇所(鹿児島市、鹿屋市、奄美市で開催) 2 個別テーマセミナー 原価計算、食品表示、営業戦略 など4回(鹿児島市で開催) 3 先進地視察 県外の実際に成功している食品企業、流通・小売業者の視察 4 ブラッシュアップ商談会 商品のブラッシュアップ、商談会の開催、営業戦略の策定支援 5 展示会出展 スーパーマーケットトレードショー(H29.2)へのブラッシュアップ商品の出展 | ◎ | — | — | — | — | — | — | — | 県(商工政策課) | |
| 14 | | 1 | 1 | 4 | 1 | ○ | | | 農産加工設備整備支援事業 | 24年度~ | 地域の農産物等を使った加工品作りを促進するため、農産加工設備の整備に対し助成する。 | 197 | 農産加工設備の整備に対する助成 ※予定した2件のうち、事業主体の都合により1件が執行できなかったもの | △ | 744 | 農産加工設備の整備に対する助成 ※事業主体の要望内容を詳細に把握し、今後も適切な支援を行っていく | 継続予定 | — | 生産流通課 | | | | |
| 15 | | 1 | 1 | 4 | 1 | ○ | | | 6次産業化推進事業 | 24年度~ | 特産物を活用した農業の6次産業化を推進するため、研修会の開催や販売促進活動、先進地研修、新商品開発に対する支援を行う。 | 1,465 | (1)6次産業化の推進 ・6次産業化に関する研修会の実施 (2)販路促進支援事業 ・物産展等への参加助成(旅費等補助) (3)新商品開発支援事業 ・新商品開発経費への助成(委託料等補助) | ○ | 1,845 | (1)6次産業化の推進 ・6次産業化に関する研修会の実施 (2)販路促進支援事業 ・物産展等への参加助成(旅費等補助) (3)先進地研修支援事業 ・先進地研修への助成(旅費等補助) (4)新商品開発支援事業 ・新商品開発経費への助成(委託料等補助) | 継続予定 | — | 生産流通課 | | | | |
| 16 | | 1 | 1 | 4 | 1 | | | | 産業支援コーディネーター等連絡会議の開催 | — | 産業創出に関わる「コーディネーター職」の交流と情報共有を目的とした会議を年数回開催している。 | 0 | 6月、12月、3月の計3回を実施。県内各地から40名前後の産学官連携に係る関係者が出席し、活動状況の報告や情報交換などを行った。 | ○ | 0 | 年に3回の会議を開催予定 | 継続予定 | — | 鹿児島県大学産学官連携推進センター | 県内関係機関 | | | |
| 17 | | 1 | 1 | 4 | 1 | ○ | | | 新事業創出支援事業 (複数の事業の総称 ・農工商連携支援事業 ・地域資源活用支援事業) | 17年度~ | 法律に基づく新連携、地域資源活用、農工商連携の各事業計画の認定を目指す中小企業者等に対して、事業計画作りから、販路開拓に至るまで、一貫して支援を図る。 | — | 県内認定件数 ・地域資源活用 2件 ・農工商連携 0件 | ○ | — | 認定回数:3回/年 | 継続予定 | — | 中小企業基盤整備機構 | 国、県、中小企業支援機関 | | | |
| 18 | | 1 | 1 | 4 | 1 | ○ | ○ | | かごしま・こだわり「食」の商談会 | 23年度~ | 優れた商品や特色ある商品を有する地元企業の販路開拓・販売促進を支援するため、県内の食品関連バイヤーを招聘し、個別相談会を開催する。 | 194 | ・日程:平成29年3月3日 ・内容:県内バイヤーとの商談会 | ○ | 500 | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | | | | |
| 19 | | 1 | 1 | 4 | 1 | ○ | ○ | | かごしまの「食」付加価値向上対策事業 | 26~28年度 | 東アジアなど国内外の需要を取り込むため、県内食品関連業者が行う商品開発や新市場開拓など付加価値向上の取組を促進するとともに、国内外の新たな市場にビジネス展開できる人材の確保を図る。 | 165,566 | ・海外展開セミナーの開催(4回開催 272人参加) ・新商品開発や販路拡大等の取組に対する助成(新規採択23件) | ◎ | — | — | 事業終了 | — | 県(産業立地課) | | | | |
| 20 | 新規 | 1 | 1 | 4 | 1 | ○ | ○ | | 食のプレミアム商品開発支援事業 | 29年度~ | 国内外の高付加価値商品の購入層をターゲットとした商品開発、新市場開拓、販路拡大など、県内食品関連事業者が行う付加価値向上の取り組みを支援するとともに、国内外の新たな市場にビジネス展開できる人材の確保・育成を図る。 | — | — | — | 43,947 | ・海外展開セミナー、個別相談会等の開催 ・新商品開発や販路拡大等の取組に対する助成 | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | | | | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|---------------------------------------|-------|--|------------------|--|----------|------------------|---------------------------------------|------------|---|---------------------------------|------------------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 21 | | 1 | 1 | 4 | 1 | | | | 「特産品と明治維新150周年」事業 | 28年度～ | 平成30年は明治維新から150周年の節目を迎えることから、3か年にわたり、明治時代以降の特産品の変遷を検証し、今後の進むべき方向性を探るための契機とする。 | — | ・研修会、特別記念講演の開催 ・情報誌「鹿児島県特産品協会だより」での特集・寄稿 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | |
| 22 | | 1 | 1 | 4 | 1 | | | | 「燃ゆる感動かごしま国体」商品開発事業 | 28年度～ | 平成32年に開催される「かごしま国体」の愛称・スローガンが決定されたことから、ロゴマークデザイン等の活用を通じて新商品開発、並びに気運の醸成を図る。 | — | 県外での物産観光展等時に開催の告知を行うとともに、製造企業等への商品開発等の啓発を行い、気運醸成を図った。 | ○ | — | 継続事業 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | |
| 23 | | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | 鹿児島大学ラボツアー事業 | — | 地域企業と大学との交流・情報交換を目的として「鹿児島大学ラボツアー」を開催している。 | — | 食品加工技術強化事業の一環として、関連の研究シーズの紹介および研究室・実験施設の訪問等を通じて、企業と大学との交流・情報交換の促進を目的に農学系・工学系の4名の研究者の講演と研究室訪問を実施。 | ○ | — | 今秋実施予定 | 継続予定 | — | 鹿児島大学産学官連携推進センター | かごしま産業支援センター |
| 24 | | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | テクニカルショウ横浜への出展 | — | 鹿児島大学の研究成果を横浜地域の企業にPRするために「テクニカルショウヨコハマ」に出展している。 | — | 平成28年度は出展せず | — | 350 | 平成29年度は、平成30年2月7日～9日に開催予定 | 継続予定 | — | 鹿児島大学産学官連携推進センター | 横浜企業支援財団 |
| 25 | | 1 | 1 | 4 | 2 | | | ○ | 企業・大学研究者のマッチング業務 | — | 研究者、企業からのニーズに対応し、(公財)かごしま産業支援センターや(株)鹿児島TLOと連携し、マッチング業務を行っている。 | 0 | 継続して研究者や企業への支援を行った。 | ○ | 0 | 継続実施 | 継続予定 | — | 鹿児島大学産学官連携推進センター | |
| 26 | | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | おたのび研究・開発フェアへの出展 | 25年度～ | 「産学連携」「産産連携」「技術移転」「新製品・新技術のPR」を目的とした展示会へ鹿児島大学の研究シーズを出展。来場者の半数近くは大田区の企業である。大田区は中小のモノづくり企業が集積する日本のモノ作りの土台を支える地域である。 | 150 | 公益財団法人大田区産業振興協会主催の「産学連携」「産産連携」「技術移転」「新製品・新技術のPR」を目的とした展示会に、理工学研究科(工学系)から、「～触媒など化学関連材料から食品、未利用資源や残渣まで～独自の粉粒流動層を用いて材料を高機能化する！」で出展 | ○ | 200 | 理工学研究科から2テーマ出展予定(10月26日～27日) | 継続予定 | — | 鹿児島大学産学官連携推進センター | 公益財団法人大田区産業振興協会 |
| 27 | | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | ライフサイエンスワールド(旧バイオテック) アカデミックフォーラムへの出展 | — | リードエグジビジョンジャパン株式会社が主催するアジア最大のバイオテクノロジーに特化した展示会へ鹿児島大学の研究シーズを出展。毎年5月に開催。 | 400 | 医歯学総合研究科1名の教員が、「医師主導治験で実用化計画中の独自開発の革新的がん標的ウイルス医薬 m-CRA」及び「二重新技術 i) iPS細胞の腫瘍化根絶のベクター技術 ii) 肝疾患根治薬のHB-EGF」の2テーマで出展 | ○ | 0 | 平成29年度は出展しない | 継続予定 | — | 鹿児島大学産学官連携推進センター | |
| 28 | | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | 新技術説明会への出展 | — | JSTが主催する新技術説明会へ参加。平成27年度からは山口大学、佐賀大学などが加わり「地方創生!南日本ネットワーク発新技術説明会」、平成28年度は「医療・福祉・創薬 新技術説明会」として開催。 | 350 | 理工学研究科(理学系)から、「共有結合による迅速かつ定量的な抗体の機能的修飾法」、 医歯学総合研究科から、「睡眠時無呼吸症候群の独自の診断ツールの開発と治療への展開」と「従来の薬剤探索法では見出すことができなかった新規抗HCV剤グアンファンシンの同定」の3テーマ出展 | ○ | 350 | 医歯学総合研究科及び理工学研究科から1件ずつ技術シーズを出展(7月25日) | 継続予定 | — | 鹿児島大学 | JST |
| 29 | | 1 | 1 | 4 | 2 | ○ | | | アグリビジネス創出フェアへの出展 | — | 農林水産省主催の農林水産・食品分野などの展示会。 | 400 | 全国の産学の機関が有する、農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで分かりやすく紹介し、研究機関間や研究機関と事業者との連携を促す「技術交流展示会」に農学部から3テーマ出展 | ○ | 400 | 農学部が主体となって出展を予定(10月4日～6日) | 継続予定 | — | 鹿児島大学農学部 鹿児島大学産学官連携推進センター | 農林水産省 |
| 30 | | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | BioJapanへの出展 | — | バイオインダストリー協会が主催する国内最大規模のバイオテクノロジーに関連する展示会。毎年10月～1月に実施 | 300 | 創業、個別化医療、再生医療、診断・医療機器、ヘルスケア、環境・エネルギー、機能性食品、研究用機器・試薬等の分野において、30ヶ国から800社以上の参加があるアジア最大級のイベントに、医歯学総合研究科から「エクセル上で動作する操作容易、トレーニング不要のオリジナルなDNAアレイ解析ソフトを用いた発現解析」で出展 | ○ | 300 | 医歯学総合研究科から1テーマ出展予定(10月11日～13日) | 継続予定 | — | 鹿児島大学産学官連携推進センター | BioJapan組織委員会 |
| 31 | | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | KTC大学合同新技術説明会・技術相談会 | 27年度～ | 九州全域の大学が保有するシーズの中から特に企業ニーズの高い最新情報を企業担当者に提供する説明会。 | — | 理工学研究科(理学系)から「Mn-Al永久磁石の製造方法及びMn-Al永久磁石」で出展 | ○ | — | 出展予定 | 継続予定 | — | 鹿児島大学産学官連携推進センター | 九州大学・九州工業大学・熊本大学 |
| 32 | | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | イノベーション・ジャパン | 28年度～ | 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が主催する大規模な新技術の展示会。ビジネスマッチングの場も設けられている。 | 200 | 医歯学総合研究科3名と理工学研究科1名の教員による4テーマ(以下)出展した。 「睡眠時無呼吸症候群の原因部位の特定システム」 「肝腫瘍ウイルスに対する新規治療剤の開発」 「エクセル上で動作する操作容易、トレーニング不要のDNAアレイ解析ソフト」 「多剤耐性も克服する新規抗がん剤 ヒプトシドの有効性」 | ○ | 200 | 医歯学総合研究科から1テーマ出展予定(8月31日～9月1日) | 継続予定 | — | 鹿児島大学産学官連携推進センター | NEDO JST |
| 33 | | 1 | 1 | 4 | 3 | ○ | | | 物産観光展開催事業 | 元年度～ | 本県特産品や観光、文化、地域情報等を総合的に紹介し、本県のイメージアップ並びに特産品の振興を図るため、本協会の自主事業として国内百貨店及び量販店数十箇所で開催するほか、鹿児島県及び鹿児島市等と連携し国内数カ所の百貨店等において、物産観光展を開催し、特産品の販路拡大や観光客の誘致促進により、本県地域産業の発展を図る。 | — | 1 協会主催物産観光展 国内主要消費地の百貨店等で実施 2 県主催物産観光展 国内5百貨店等において、知事等がトップセールスを行う物産観光展を実施する。 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 鹿児島県 鹿児島市 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|-------------------------------|---------|--|------------------|--|----------|------------------|---|------------|---|------------------------|---|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 34 | | 1 | 1 | 4 | 3 | | | ○ | 販路開拓推進事業 | 元年度～ | グローバル化の中で、産地間競争や類似商品の氾濫等により市場競争は激化するとともに、消費者ニーズや小売市場は多様化していることから、国内外の市場動向や消費者ニーズの把握、関連業界との連携強化等により有利な市場展開を行い、本県特産品の国内外への販路拡大を図る。 | — | 1 国内販路開拓 ・ 商談会やフェア等による小売店等の業態別販売戦略の構築 ・ ギフト商品や新商品等のテスト販売など 2 海外販路開拓 ・ 海外輸出を支援するセミナーの実施 ・ 海外への輸出可能性調査の実施 3 国内外における観光と連携した商品開発や宣伝販売 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | |
| 35 | | 1 | 1 | 4 | 3 | | | ○ | かごしまの工芸品匠展開催事業 | 23年度～ | 本県には、大島紬や薩摩焼、川辺仏壇をはじめ多くの工芸品があり、これらを広く県内外に宣伝・紹介し理解と認識を高めてもらうとともに、需要の喚起による販路拡大を図る。 | — | 本場大島紬織物協同組合と連携し、一般消費者を対象に本場大島紬の着用機会を創出し、旬の食と伝統的工芸品を楽しむ集いを開催した。 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | 県、民間企業等 |
| 36 | | 1 | 1 | 4 | 3 | | | ○ | 販路開拓支援事業(鹿児島アグリ&フード金融協議会) | 21年度～ | 鹿児島銀行、南日本銀行、鹿児島相互信用金庫、鹿児島信用金庫、奄美大島信用金庫、鹿児島興業信用組合、奄美信用組合が構成金融機関となり、南九州地域の農業・食料を中心とした産業振興に資する事業等の実施において連携・協力をすることにより、地域の経済活性化に寄与することを目的とする。 | — | 1 実施方針 引続き南九州地域の農業・食料を中心とした産業振興に資する事業等の実施において連携・協力をすることにより、地域の経済活性化に寄与していく。 2 スケジュール (1)H28年7月「かざん西原商會商談会inシンガポール」 | ○ | — | 1 実施方針 引続き南九州地域の農業・食料を中心とした産業振興に資する事業等の実施において連携・協力をすることにより、地域の経済活性化に寄与していく。 | 継続予定 | — | 鹿児島アグリ&フード金融協議会(鹿児島銀行) | 鹿児島銀行、鹿児島相互信用金庫、鹿児島信用金庫、奄美大島信用金庫、鹿児島興業信用組合、奄美信用組合 |
| 37 | | 1 | 1 | 4 | 3 | | | | WIN-WINネット業務 | 23年度～ | 弊行の取引先である多くの中小企業・個人事業主が厳しい経営環境にある中、弊行が新たな販路開拓、もしくは事業運営の改善について支援を行うなど、積極的に取引先事業者に関与し、取引先事業者の売上高増加と営業利益の改善を実現させる。 | — | 1、実施方針 弊行の取引先である多くの中小企業・個人事業主が厳しい経営環境にある中、弊行が新たな販路開拓、もしくは事業運営の改善について支援を行うなど、積極的に取引先事業者に関与し、取引先事業者の売上高増加と営業利益の改善を実現させる。 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 南日本銀行 | 外部専門機関 外部コンサルタント等 |
| 38 | | 1 | 1 | 4 | 3 | | | ○ | 大学は美味しいフェアへの出展 | — | 例年5月後半～6月にかけて新宿高島屋で開催される食品の物販及び展示会。 | — | 出展見送り | ○ | — | 南大隅町十津川農場と農学部教員の共同研究の成果によるねじめびわ茶と、本学とのマーケティング共同開発による世紀産業のシナモンティ等を出店した。(5月) | 継続予定 | — | 鹿児島大学 | |
| 39 | | 1 | 1 | 4 | 3 | | | ○ | そうしん鹿児島うまいもんフェア(イオン九州株との共催事業) | 26年度～ | 地産地消ネットワークづくりの一環として鹿児島県内の地域産品(農産・水産・畜産・加工品)生産・販売業者の新規開拓と販売機会の拡大をサポートする。マッチングフェア事業等を通じてイオン九州とつながりがあることから、イオン鹿児島ショッピングモール内にて開催する。 | — | <期間> ①H28年3月19日(土)～3月21日(月)の3日間 <開催目的> 地産地消ネットワークづくりの一環として鹿児島県内の地域産品(農産・水産・畜産・加工品)生産・販売業者の新規開拓と販売機会の拡大をサポートする。 <会場>イオンモール鹿児島店 <出店企業> ②県内企業 | ◎ | — | <期間> 平成29年9月29日(金)～10月1日(日)の3日間 <開催目的> 地産地消ネットワークづくりの一環として鹿児島県内の地域産品(農産・水産・畜産・加工品)生産・販売業者の新規開拓と販売機会の拡大をサポートする。 <会場>イオンモール鹿児島店 <出店企業> 県内企業 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | |
| 40 | | 1 | 1 | 4 | 3 | | | ○ | 安心・安全な食の認証取得促進事業 | 26～28年度 | 本県の豊富な一次産品を生かした安心・安全な付加価値の高い商品づくりを促進するため、県内食品製造業者が行う食品の高品質化や食品衛生管理等の認証取得の取組を支援する。 | 82,067 | ・HACCP等認証取得に関する講習会の開催(4回開催532人参加) ・食の認証取得の取組に対する助成(新規採択 10件) | ◎ | — | — | 事業終了 | — | 県(産業立地課) | |
| 41 | | 1 | 1 | 4 | 3 | | | ○ | 商工会まるごと特産品フェア | 26年度～ | 県内各商工会地域の事業者が開発した「とっておきの逸品」や全国展開プロジェクト等で開発した特産品等及び県内各地域の特産品等を一同に取り揃え、鹿児島市の中でも特に交流人口の多い「JR鹿児島中央駅前」において物産展を開催し、広く消費者に県内商工会地区の特産品の魅力を紹介し、販路拡大につなげることを目的とする。 | — | 平成29年1月13日～15日の3日間、アミュ広場にて開催。鹿児島・日置・南薩地域6商工会24事業所が参加。かごしま市商工会より 8事業所出店。 | ◎ | — | 平成29年11月24日～26日の3日間、アミュ広場にて開催。鹿児島・日置・南薩地域6商工会24事業所が参加。かごしま市商工会より8事業所出店予定。 | 継続予定 | — | かごしま市商工会 | |
| 42 | 新規 | 1 | 1 | 4 | 3 | | | ○ | HACCP等認証取得促進事業 | 29年度～ | 県内食品関連事業者が行う食品の安全性、高品質化、衛生管理等に関する認証取得に向けた取り組みを支援し、食品衛生管理に関する専門的な人材の育成を図ることで、安心・安全な付加価値の高い商品づくり及びHACCP等の認証取得を促進し、販路開拓、販路拡大、経営基盤強化等に繋げる。 | — | — | — | 43,908 | ・HACCP等認証取得に関する講習会の開催 ・食の認証取得の取組に対する助成 | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|---|-------|--|------------------|---|----------|------------------|--|------------|---|---------------------------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 43 | 新規 | 1 | 1 | 4 | 3 | ○ | | | 食品関連産業経営力アップ支援事業 | 29年度～ | 食品関連企業の経営者等を対象に、最新の流通情報や市場動向に関するセミナーや、消費者ニーズを把握するための売場研修会等を通じて、情報収集力の向上を図るとともに、商品ブラッシュアップや商談会、展示会、専門家派遣を通じて、商品開発力や営業力の強化を図ることにより、食品関連企業の経営力アップを総合的に支援する。 | — | — | — | 31,917 | 1 経営力アップセミナー 最新の流通情報、市場動向、価格設定、コンセプト設定、商品開発など3回×2箇所(鹿児島市、鹿屋市で開催) 2 個別テーマセミナー 原価計算、食品表示、営業戦略 など2回(鹿児島市で開催) 3 商品開発研修会 県外の実際に成功している食品企業、流通・小売業者の視察 4 ブラッシュアップ商談会 商品のブラッシュアップ、商談会の開催、営業戦略の策定支援 5 展示会出展 スーパーマーケットトレードショー(H30.2)へのブラッシュアップ商品の出展 | 継続予定 | — | 県(商工政策課) | |
| 44 | | 1 | 1 | 5 | 1 | ○ | | | 農林水産物PR事業 | 27年度～ | 豊富な市内産の特産農林水産物を市内外の各種イベント、物産展等を通して広くPRを行うことにより、本市農林水産物の生産振興及び消費拡大を図る。 | 5,210 | 1. 鹿児島市農産物等流通促進協議会負担金 (1)地産地消の推進 ①市内産農産物旬のキャンペーン(年3回) ②食の産地交流会(年2回) ③暮れの市 ④地産地消宣伝 (2)特産物キャンペーン推進 (3)茶消費拡大対策 2. 桜島ブランド総合販売促進対策協議会負担金 3. 県外PR | ○ | 5,164 | 1. 鹿児島市農産物等流通促進協議会負担金 (1)地産地消の推進 ①市内産農産物旬のキャンペーン(年3回) ②食の産地交流会(年3回) ③暮れの市 ④地産地消宣伝 (2)特産物キャンペーン推進 (3)茶消費拡大対策 2. 桜島ブランド総合販売促進対策協議会負担金 3. 県外PR | 継続予定 | — | 鹿児島市農産物等流通促進協議会(生産流通課) | |
| 45 | | 1 | 1 | 5 | 1 | ○ | | | そうしん「うまかもん市」 | 21年度～ | 地産地消ネットワークづくりの一環として鹿児島県内の地域産品(農産・水産・畜産・加工品)生産・販売業者の新規開拓と販売機会の拡大をサポートする。マッチングフェア事業等を通じてダイエーとつながりがあることから、全国に先駆けてモデルケース企画として共同開催している。 | — | 未実施 | ○ | — | 未実施 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | ダイエー |
| 46 | | 1 | 1 | 5 | 1 | ○ | | | そうしん「小さな地産・地消支援ネットワーク」 | 21年度～ | 小規模・零細企業を中心とした農水産物生産者、食品加工業者など支店取引先の食材、農水産物や特産品を僚店間の店頭にて展示・紹介し、販路拡大支援をサポートする。 過去13回実施 | — | 平成28年8月23日(火)大崎町にて実施 | ◎ | — | ①<開催日時> 平成29年8月10日(金) <開催場所> かんまちや(上町支店主催) <開催理由> 店舗設立60周年記念事業 ②<開催日時> 平成29年9月20日(水) <開催場所> 隈之城支店駐車場 <開催理由> 新店舗オープン6ヶ月記念 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | |
| 47 | | 1 | 1 | 5 | 2 | ○ | | | 「かごしま地産地消推進店」の登録 | 18年度～ | 県産農林水産物を積極的に活用している飲食店等を「かごしま地産地消推進店」として登録することを通じて、飲食店等における地産地消の取組拡大や県産農林水産物の消費者への理解促進と消費拡大を推進する。 | — | 地産地消推進店の登録と支援を実施(登録数 611店) | ○ | — | H29年5月に地産地消推進店の登録を実施 今後追加登録を実施予定 | 継続予定 | — | かごしまの“食”交流推進会議(事務局: 県農政課) | |
| 48 | | 1 | 1 | 6 | 1 | ○ | | | オール鹿児島観光推進プロジェクト実行委員会 ※平成27年度までは「九州新幹線全線開業経済効果最大化プロジェクト」の名称を変更し、他団体と連携を図り、様々な観光振興策を展開する。 | 28年度～ | 当所が中心となって組織する「九州新幹線全線開業経済効果最大化プロジェクト」の名称を変更し、他団体と連携を図り、様々な観光振興策を展開する。 | — | ・関西かごしまファンデーへの参加 平成28年4月17日(日) 出展企業 4社 ・熊本地震からの復興を図る観光振興策についての要望活動 | ○ | — | 関西かごしまファンデーへの参加 平成29年4月16日(日) 出展企業 4社 | 継続予定 | — | 商工会議所 | |
| 49 | | 1 | 2 | 1 | 1 | ○ | | | 観光未来戦略推進事業 | 18年度～ | 1 有識者会議等による観光未来戦略の進捗管理・推進(H17～H23) 2 第2期観光未来戦略策定(H22～H23) 3 有識者会議等による第2期観光未来戦略の進捗管理・推進(H24～) | 4,601 | 第2期鹿児島市観光未来戦略の進捗管理・推進 第3期鹿児島市観光未来戦略の策定 | ◎ | 3,060 | 第3期鹿児島市観光未来戦略の進捗管理・推進 | 継続予定 | — | 観光プロモーション課 | |
| 50 | 拡充 | 1 | 2 | 2 | 1 | ○ | | | 鹿児島ぶらりまち歩き推進事業 | 20年度～ | ガイドの解説を受けながらまち歩きを楽しめる「鹿児島ぶらりまち歩き」を推進するとともに、市内の主要観光地等でもボランティアガイドによる観光案内が受けられる体制をとり、観光客の受入体制の充実を図る。 | 21,600 | 1 まち歩きガイドの実施(H28.6まで24コース、H28.7から16コース) 2 観光地ガイドの実施(H28.5まで12ヶ所、H28.6から11ヶ所) 3 まち歩き観光ステーションでの観光案内 4 よりみちクルーズ船内における観光案内 5 観光レトロ電車内での観光案内 6 市民向けまち歩きの実施 7 JRウォーク 8 まち歩きコースの見直し 9 臨時案内所(大河ドラマ放送期間中設置)での観光案内 10 大河ドラマ館発着のまち歩き特設コース開設 | ◎ | 23,902 | 1 まち歩きガイドの実施(16コース) 2 観光地ガイドの実施(11ヶ所) 3 まち歩き観光ステーションでの観光案内 4 よりみちクルーズ船内における観光案内 5 観光レトロ電車内での観光案内 6 市民向けまち歩きの実施 7 JRウォーク 8 まち歩きコースの見直し 9 臨時案内所(大河ドラマ放送期間中設置)での観光案内 10 大河ドラマ館発着のまち歩き特設コース開設 | 継続予定 | — | 鹿児島観光コンベンション協会 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|----------------------|-------|--|------------------|---|----------|------------------|---|------------|------------------|-------------------------------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 51 | | 1 | 2 | 2 | 1 | ○ | | | “味のまち鹿児島”づくりイベント支援事業 | 28年度～ | 多くの観光客や市民に味のまち鹿児島を体感し、楽しんでもらうため、民間団体が実施する“食”のイベントに対し助成する。 | 2,060 | 民間団体等が実施する、多くの観光客や市民を呼び込める“食”のイベントに対する助成制度を設け、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる食の都づくりをめざし、本市の更なる観光振興を図った。 【実施内容】 28年度選定イベント 1 2016カレーフェスタ in KAGOSHIMA (1)実施団体: 嶺南日本放送 (2)実施時期: 平成28年10月8日(土)、9日(日) (3)補助金額: 2,000千円 2 鹿児島ハル街中央駅周辺活性化事業 (1)実施団体: 鹿児島ハル街実行委員会 (2)実施時期: 平成29年5月13日(土)～26日(金) ※交付決定のみ | ◎ | 6,090 | 1. 実施方針 (1) 補助対象団体の選定(新規:1団体、継続:2団体) (2) 補助対象事業の実施 (3) 補助金の交付 2. スケジュール (1) イベントの募集(6月～7月) (2) 助成団体の決定(9月上旬) (3) 助成団体によるイベント内容の調整 (4) イベントの実施 | 継続予定 | — | 観光振興課 | |
| 52 | 拡充 | 1 | 2 | 2 | 1 | ○ | | | 観光イベント創出支援事業 | 25年度～ | 民間団体が実施する、多くの市民や観光客を呼び込める新たなイベントに対する補助制度を設け、本市の新たなイベントとして定着を図る。 | 16,070 | 1. 実施方針 同左 2. スケジュール(当該年度選定分) (1) イベントの募集(4月上旬～5月上旬) 応募件数 新規6件、継続3件 (2) 助成団体の決定(6月) 決定件数 新規1件、継続3件 (3) 助成団体によるイベント内容の調整 (4) イベントの実施 | ◎ | 18,090 | 1. 実施方針 同左 2. スケジュール(当該年度選定分) (1) イベントの募集(4月末～6月上旬) 応募件数 新規3件、継続4件 (2)-1 助成団体の決定(7月) 決定件数 新規1件、継続3件 (2)-2 助成団体の決定(9月) (3) 助成団体によるイベント内容の調整 (4) イベントの実施 新規イベントを追加選定【拡充要素】 | 継続予定 | 29年度まで新規イベントを採択。 | 観光プロモーション課 | |
| 53 | | 1 | 2 | 2 | 1 | ○ | | | 薩摩維新ふるさと博開催事業 | 26年度～ | 明治維新150年に向けた取組のひとつとして、幕末・維新期の薩摩を感じられるイベント「薩摩維新ふるさと博」を歴史ロード“維新ふるさとの道”において開催する。 <時期> おはら祭前後の3週間程度を予定 <内容> ・歴史ロード出入口での幕末・維新期の偉人等に扮したスタッフによるおもてなし ・郷土芸能、芝居(幕末の様子など)及び「自願流」演舞の披露 ・当時を感じさせる雰囲気のある飲食ブースの設置 ・「明治維新150年カウントダウン事業」の各年度テーマに沿った展示 など | 8,000 | <期間> 10月23日(金)～11月6日(日) [15日間] <内容> ・幕末・維新期の衣装を着た「薩摩維新おもてなし隊」によるおもてなし及びパフォーマンスの披露 ・芝居、郷土芸能及び自願流・薬丸自願流演舞披露 ・当時の雰囲気を感じられる飲食ブース及び食事コーナーの設置 ・自願流・薬丸自願流体験や当時の衣装(簡易)の貸出し ・「薩長同盟・坂本龍馬新婚旅行」にちなみブース設置 など | ○ | 4,000 | <期間> 10月20日(金)～10月22日(日) [3日間] <内容> ・幕末・維新期の衣装を着た「薩摩維新おもてなし隊」によるおもてなし及びパフォーマンスの披露 ・芝居、郷土芸能及び自願流・薬丸自願流演舞披露 ・当時の雰囲気を感じられる飲食ブース及び食事コーナーの設置 ・自願流・薬丸自願流体験や当時の衣装(簡易)の貸出し など | 継続予定 | — | 薩摩維新ふるさと博実行委員会(事務局:KTS ※市も参加) | |
| 54 | 拡充 | 1 | 2 | 2 | 2 | ○ | | | グリーン・ツーリズム推進事業 | 18年度～ | <23年度まで> 「鹿児島市みどり豊かな農山村ふれあい推進基本計画」に基づきグリーン・ツーリズムを推進する。 (1) 推進体制の整備 (2) 情報発信 (3) 人材育成 (4) 活動支援 (5) 農業・農村体験交流 <24年度以降> 「鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画」に基づきグリーン・ツーリズムを推進する。 (1) 都市部住民の農村地域における交流促進 (2) 人材の育成と関係団体への支援・連携 (3) 農村地域の魅力の情報発信 (4) 計画の推進 <29年度以降> 「第2期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画」に基づきグリーン・ツーリズムを推進する。 (1) 都市部住民の農村地域における交流促進 (2) 人材の育成と関係団体への支援・連携 (3) 農村地域の魅力の情報発信 (4) 計画の推進 | 6,733 | 1 都市部住民の農村地域における交流促進 農家民泊の促進、(拡)県外エージェント・県内観光関係者への情報発信、農家民泊の促進、農家民泊モニターツアーの実施、農作業体験学習の促進、棚田の保全、農村体験人材バンクの活用 2 人材の育成と関係団体への支援・連携 地域グリーン・ツーリズム推進連絡会の開催、登録団体等の認証・助成、農家民泊の促進、棚田の保全、インストラクターの派遣、インストラクター等への研修、農家民泊に関する専門研修、インストラクター連絡会の開催 3 農村地域の魅力の情報発信 ガイドブックの作成・配布、(拡)ホームページのリニューアル及び管理・運営、生活情報紙による情報発信 4 計画の推進 地域グリーン・ツーリズム推進連絡会の開催 | ◎ | 8,346 | 1 都市部住民の農村地域における交流促進 グリーン・ツーリズム登録団体等の登録、農家民泊受入体制の充実、(拡)農家民泊受入の促進、農家民泊の開設の促進、農作業体験学習の実施、棚田の保全活動への助成・支援、農村体験人材バンク(名人)の活用 2 人材の育成と関係団体への支援・連携 地域グリーン・ツーリズム推進連絡会の開催、農家民泊のネットワーク強化、グリーン・ツーリズム登録団体等への助成、農家民泊受入組織への支援、活動組織等の研修、インストラクター連絡会への支援、インストラクターの派遣 3 農村地域の魅力の情報発信 (新)グリーン・ツーリズム宿泊体験ツアーの実施、(拡)ガイドブックのリニューアル・作成・配布、ホームページ・フェイスブックの管理・運営、案内板の管理・運用、生活情報紙による情報発信 4 計画の推進 第2期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進協議会の開催等 | 継続予定 | — | グリーン・ツーリズム推進課 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--|-------|--|------------------|---|----------|------------------|---|------------|----|--|--|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 55 | 拡充 | 1 | 2 | 2 | 2 | | | ○ | 桜島・錦江湾ジオパーク推進事業 | 24年度～ | 桜島・錦江湾ジオパークにおいて、世界認定に向けて、ジオツアーの実施や市民への周知活動を行う。 | 34,047 | 1 世界ジオパーク認定への取組 ・世界ジオパーク国内推薦申請対応 ・世界ジオパークネットワークビューロ招聘 ・ジオパーク国際ユネスコ会議出席 2 ジオに関する活動の展開 ・ジオツアー、ジオ講座の実施 ・ジオカフェ、ジオキッズ講座、ジオ出前講座等の実施 ・ワーキンググループにおける取組 ・スタンプラリーの実施 ・灰フェス等イベントの開催 ・防災ゲームの作成 3 情報発信 ・PR映像制作 ・ガイドマップ増刷 ・ポロシャツ、ウエットティッシュ等広報ツールの作成 ・有村溶岩展望所レストハウスへの展示 | ○ | 29,019 | 1 世界ジオパーク認定への取組 ・エリア統合に向けた取組 ・世界ジオパーク研修会参加 ・UGGカウンスル招聘 ・APGNシンポジウム出席 2 日本ジオパーク再認定対応 3 九州ジオパーク連絡会の開催 4 ジオに関する活動の展開 ・ジオツアー、ジオ講座の実施 ・ジオカフェ、ジオキッズ講座、ジオ出前講座等の実施 ・ワーキンググループにおける取組 ・スタンプラリーの実施 ・灰フェス等イベントの開催 5 情報発信 ・ガイドマップ増刷 ・ポロシャツ等各種広報ツールの作成 | 拡充予定 | 未定 | 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会(事務局:市ジオパーク推進室) ジオパーク推進室 | |
| 56 | | 1 | 2 | 2 | 2 | | | ○ | 映画撮影等誘致支援事業 | 25年度～ | 鹿児島の魅力の発信につながる映画等に対し助成する。 | 5,196 | 1 実施方針 鹿児島の魅力の発信につながる映画や連続ドラマを誘致し、その製作に係るロケ経費及びPR経費に対して助成する。 2 スケジュール 映画「ゆずの葉ゆれて」の支援(PR経費) | ○ | 5,738 | 1 実施方針 鹿児島の魅力の発信につながる映画や連続ドラマを誘致し、その製作に係るロケ経費及びPR経費に対して助成する。 2 スケジュール 映画「マヤの一生」の支援(ロケ経費) | 継続予定 | — | 観光プロモーション課 | |
| 57 | | 1 | 2 | 2 | 2 | | | ○ | 世界遺産推進事業 ※25～27年度は「世界文化遺産登録推進事業」 | 25年度～ | 磯地区の異人館などを含む「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録を目指し、構成資産の適切な保存管理と整備活用を図る。また、市民との協働で文化遺産を生かした地域振興を図る。 | 8,270 | 1 情報発信、理解増進 ・3資産循環バスツアー、空港連絡バスラッピング広告等 2 受入環境の整備 ・道路案内標識、公衆無線LANの整備等 3 かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議 ・ファン拡大、地域魅力アップ、地域活性化活動の実施 ・おもてなし講座等の開催 ・マップ・ガイドブック等の増刷 | ◎ | 8,752 | 1 情報発信、理解増進 ・異人館創建150周年記念講演会、写真コンテスト ・3資産循環バスツアー、空港連絡バスラッピング広告 2 受入環境の整備 ・公衆無線LANの運用等 3 かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議 ・ファン拡大、地域魅力アップ、地域活性化活動の実施 ・おもてなし講座等の開催 ・マップ・ガイドブック等の増刷 | 拡充予定 | 未定 | 世界遺産推進室 | 市民団体 NPO法人 大学 事業者 観光・経済団体 行政 |
| 58 | | 1 | 2 | 2 | 2 | | | ○ | 桜島・錦江湾ジオパーク環境整備事業 | 26年度～ | ジオの魅力・特性を生かしたハード整備や主要ジオサイトの説明板整備などを行うことにより、桜島・錦江湾ジオパークの環境整備を行う。 | — | — | — | — | — | — | — | ジオパーク推進室 | |
| 59 | | 1 | 2 | 2 | 2 | | | ○ | プロスポーツチーム等活動支援補助金 | 26年度～ | スポーツを通じた観光交流の促進を図るため、市内を拠点とするプロスポーツチームが行う本市の観光PR活動やチームの情報発信力を高める活動等に対し、必要な支援を行う。 | 3,593 | プロスポーツチームへの支援 <交付対象者> ・一般社団法人鹿児島プロスポーツプロジェクト(鹿児島ユナイテッドFC運営会社)…3,254,065円 ・株式会社スポーツフロンティア鹿児島(鹿児島レブナイズ運営会社)…338,810円 | ○ | 7,000 | プロスポーツチームへの支援 <交付対象者> ・株式会社鹿児島プロスポーツプロジェクト(鹿児島ユナイテッドFC運営会社)…5,000,000円 ・株式会社鹿児島レブナイズ(鹿児島レブナイズ運営会社)…2,000,000円 | 継続予定 | — | スポーツ課 | |
| 60 | | 1 | 2 | 2 | 2 | | | ○ | WEB産業観光発信 | 26年度～ | ジェットロでは、インバウンドのヒトの流れとアウトバウンドのモノ・サービスの流れの間に好循環をもたらすことを目的として、海外からの観光客を積極的に受け入れる日本の企業や工場等の施設情報を収集し、それらの情報をジェットロウェブサイト(http://www.jetro.go.jp/en/ind_tourism/)に掲載し、全世界向け発信する。 | — | 事業概要の通り | ○ | — | 継続実施 | — | — | ジェットロ | |
| 61 | | 1 | 2 | 2 | 3 | | | ○ | 外国人観光客受入事業 ※25年度は「外国人観光客受入体制整備事業」として実施(25年度より、受入関連事業を「東アジア観光客誘致事業」から抜粋) ※27年度は「外国人向け無線LAN設置事業」も併せて実施 | 21年度～ | ホテル等の外国語案内表記の整備に対する助成を行うほか、外国人用公共交通ガイドブックの作成等を行う。 | 6,277 | ・海外観光客受入体制整備費助成補助金 ・外国語版「食べ歩きマップ」作成事業補助金 ・外国語版「公共交通ガイドブック」の増刷 ・公衆無線LAN環境の整備 ・クルーズ船の受入(入港時における歓迎行事の実施、観光客船寄港広報の実施) | ◎ | 9,328 | ・海外観光客受入体制整備費助成補助金 ・外国語版「食べ歩きマップ」作成事業補助金 ・外国語版「公共交通ガイドブック」の増刷 ・公衆無線LAN環境の整備 ・クルーズ船の受入(入港時における歓迎行事の実施、観光客船寄港広報の実施) | 継続予定 | — | 観光プロモーション課 鹿児島海外観光客受入協議会(事務局:NPO法人ゆめみなど※市も参加) | 県 鹿児島商工会議所 コンベンション協会 県観光連盟 NPO法人ゆめみなど 鹿児島 |
| 62 | | 1 | 2 | 2 | 3 | | | ○ | ウエルカムキュート運営事業 ※H24までは「外国人観光客ウエルカムキュート導入事業」 | 24年度～ | 市電、市バス、桜島フェリーの共通券の料金及び観光施設の入館料等が割引される外国人観光客向けのキュートを販売し、外国人観光客の誘致を促進するとともに、回遊性の更なる向上を図る。 | 8,360 | 1 公共交通ガイドブックでの広報 2 海外セールスでのプロモーション | ◎ | 9,000 | 1 公共交通ガイドブックでの広報 2 海外セールスでのプロモーション | 継続予定 | — | 観光プロモーション課 | ・交通局 ・船舶局 ・鹿児島観光コンベンション協会 |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|---|--------|---|------------------|--|----------|------------------|---|------------|---|---------------------------------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 63 | | 1 | 2 | 2 | 3 | | | | インバウンド対策事業 | 28年度～ | 近年、国内外の観光客等は、地域特産品の製造体験・見学等を通じて、地域の食・生活文化に触れながら特産品等を求めている。このようなことから、これらの情報を総合的・タイムリーに提供するとともに新商品等の開発を推進し、新たなビジネス機会を創出する。 | — | ・製造体験・見学施設の情報収集と提供 ・施設登録数 60社・施設 ・商品開発研修会・個別求評商談会、販売会の実施 | ○ | — | ・英会話による「おもてなし研修会」を実施 ・購入動向等の調査及び商品開発 ・特産品の製造体験・見学施設等の情報提供 | 継続予定 | | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | |
| 64 | | 1 | 2 | 3 | 1 | | ○ | | 広域観光連携事業 | S28年度～ | 行政区域を越えた他地域の観光資源施設と連携させた広域的なルートづくりや観光宣伝などの共同事業を行う。 また、各種の協議会に、観光関係団体の会員として加入し、全国レベル・県レベルでの観光振興事業の中で本市のPRを行うとともに、各種の情報提供を受ける。 | 8,376 | 1 鹿児島県四地区観光連絡協議会 観光キャンペーン、雑誌等記者招聘、パンフレット作成等 2 鹿児島県観光誘致促進協議会 旅行エージェントとの意見交換会、NHKドラマ誘致等 3 観光かごしま大キャンペーン推進協議会 総合集中宣伝、誘客宣伝等 4 その他 九州観光都市連盟・鹿児島県都市観光連絡会議・鹿児島県観光連盟・日本観光振興協会・国際観光振興機構 総会・連絡会議等の開催、各種情報発信等 | ◎ | 8,228 | 1 鹿児島県四地区観光連絡協議会 観光キャンペーン、雑誌等記者招聘、パンフレット作成等 2 鹿児島県観光誘致促進協議会 旅行エージェントとの意見交換会、NHKドラマ誘致等 3 観光かごしま大キャンペーン推進協議会 総合集中宣伝、誘客宣伝等 4 その他 九州観光都市連盟・鹿児島県都市観光連絡会議・鹿児島県観光連盟・日本観光振興協会・国際観光振興機構・鹿児島県教育旅行受入対策協議会、九州地区観光宣伝隊、錦江湾奥会議観光事業 総会・連絡会議等の開催、各種情報発信等 | 継続予定 | — | 観光プロモーション課 | |
| 65 | | 1 | 2 | 3 | 1 | | ○ | | 「メイドインかごしま」支援事業(四市連携地場企業販路拡大推進) | 24年度～ | 本市中小企業(製造業者等)の新製品開発等の経営力の強化や商品の販路拡大の取組を支援する。 | 8,131 | 1 実施方針 継続実施 2 事業実績 (1)経営力強化補助: 2件 (2)新製品等支援補助: ①新製品等開発: 6件 ②新商品販路開拓: 5商品 (3)販路拡大推進補助: 19件 | ○ | 7,795 | 1 実施方針 継続実施 2 市内の製造業者等からの申請に基づき随時対応 (1)経営力強化補助 (2)新製品等支援補助 (3)販路拡大推進補助 | 継続予定 | — | 産業支援課 | |
| 66 | | 1 | 2 | 4 | 1 | | ○ | | 姉妹友好都市等との交流事業 | — | 姉妹友好都市、兄弟都市、その他海外の各都市と交流を行い、相互の友好を深める。 (平成20年度の「姉妹都市等からの来訪者との交流」と「長沙市との交流」を統合したもの。) | 20,727 | 姉妹友好都市ほか海外の各都市からの来訪者との交流 ・姉妹都市等からの来訪者の受入 ・国際小学生サッカー大会長沙市派遣(平成28年4月～5月) ・マイアミ市へ親善訪問団を派遣(平成28年7月) ・長沙市へ友好代表団・交流協議団を派遣(平成28年10月) | ○ | 19,658 | 姉妹友好都市ほか海外の各都市からの来訪者との交流 ・姉妹都市等からの来訪者の受入 ・国際小学生サッカー大会長沙市派遣 ・日中友好交流都市中学生卓球交歓大会への参加 ・友好都市締結35周年記念訪問団長沙市派遣 | 継続予定 | — | 国際交流課 | |
| 67 | | 1 | 2 | 4 | 2 | | ○ | | アジアとの交流事業 | — | (市長のアジア訪問) アジア地域との文化・経済などの多方面において強化するために市長のトップセールスの充実を図る。 | 3,048 | 「アジア友好交流訪問」 アジアの都市と本市との友好交流と本市のPR。 ・時 期: 平成29年3月 ・訪問国: タイほか ・参加者: 5名(市長、市民代表1、市職員3) | ○ | 1,563 | 「アジア友好交流訪問」 アジアの都市と本市との友好交流と本市のPR。 ・時 期: 未定 ・訪問国: アジア(未定) ・参加者: 職員2名 「アジア太平洋都市サミット参加」 ・テーマ: 未定 ・期 間: 3日間(時期は未定) ・開催地: 国内(未定) ・参加者: 4名(市長、職員3名) | 継続予定 | — | 国際交流課 | |
| 68 | | 1 | 2 | 4 | 2 | | ○ | | 多彩な都市交流事業 | 28年度～ | 歴史的につながりのある都市や市長の訪問を契機に交流のきっかけができた都市などに協議団を派遣し、海外の都市との多彩な交流を進める。 | 2,396 | ストラズプール市等への職員派遣(平成28年10月) | ○ | 5,654 | ・歴史的につながりのある都市や市長の訪問を契機に交流のきっかけができた都市などに協議団を派遣し、海外の都市との多彩な交流を進める。 | 継続予定 | — | 国際交流課 | |
| 69 | | 1 | 2 | 4 | 2 | | ○ | | 九州縦断4市観光連携事業 | 元年度～ | 九州新幹線全線開業の効果を高めるために、本市と福岡市、熊本市、北九州市で構成する九州縦断観光ルート協議会において、発展著しい東アジアや関西以西地域をターゲットに観光客の誘致促進を図る。 | 2,500 | ・ブロガーによる情報発信(台湾) ・旅行会社と連携したセミナーの実施(台湾) ・ブロガーによる情報発信(タイ) ・個人旅行層に向けた情報発信(豪州) | ◎ | 2,500 | ・旅行会社と連携したプロモーション(中国) ・旅行会社と連携したプロモーション(タイ) ・ブロガー等による情報発信(ベトナム) ・旅行会社と連携したプロモーション(豪州) | 継続予定 | — | 九州縦断観光ルート協議会(福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市) | |
| 70 | 拡充 | 1 | 2 | 4 | 2 | | ○ | | “世界を視野に”外国人観光客誘致宣伝事業 ※「東アジア等観光客誘致宣伝事業」から名称変更 | 21年度～ | 発展著しい東アジア及びアセアンからの観光客誘致を促進するため、効果的なトップセールスのほか、誘致セールス、観光プロモーション等を継続的に実施する。 | 14,319 | ・観光プロモーション(台湾・香港等) ・誘致セールス(中国、韓国、香港、台湾、タイ・シンガポール) ・海外観光客誘致事業補助金 ・さきどり情報の発信 | ◎ | 17,800 | ・観光プロモーション(台湾・香港・タイ等) ・誘致セールス(中国、韓国、香港、台湾、タイ・シンガポール) ・海外観光客誘致事業補助金 ・さきどり情報の発信 | 継続予定 | — | 観光プロモーション課 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--|----------------------------|--|------------------|--|----------|------------------|--|------------|---|---------------|--------------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 71 | | 1 | 2 | 4 | 2 | | | ○ | ぐるっと大使館活用事業 | 28年度～ | 首都圏にある東南アジアなど世界各国の大使館に向けて、観光情報等の発信を行うとともに、各国大使館とのネットワークの構築を図る。 | 570 | ・大使館等への訪問を行い、観光情報の各国翻訳版の提供など鹿児島市の情報発信を行った。(訪問数:11大使館等延べ16回) ・国内外観光客向けイベント「Let's go 海外! × Tokyo City」に出展し、観光PRを行った。 ・市政報告会(H28.8.31)において大使館関係者と意見交換を行った。 | ◎ | 1,304 | ○大使館訪問 ・年間約20ヶ国の大使館への情報提供(新規10ヶ国 残りは継続) ・市政報告会における意見交換 ○外務省主催「地域の魅力発信セミナー」における観光PR ・在京外交団へのプレゼン及び観光ブース出展 | 継続予定 | — | 東京事務所 | |
| 72 | | 1 | 2 | 4 | 2 | | | | 外国人技能実習制度適正化事業 | 27～29年度 | 外国人技能実習生共同受入事業を行う事業協同組合等(監理団体)並びに組合員(実習実施機関)による不正行為の防止に努めるため、社会保険労務士等の専門家並びに中央会指導員が適正化指導、組合間の情報連携の他、各監理団体に対する適正化に向けた講習会の開催等、新たに組合・組合員が対応すべき事項について確認し、個別に不適正な運営の是正・改善指導を行う。 | 939 | ・適正化指導事業 監理団体5回、実習実施機関10回 ・適正化講習会 (1)対象: 監理団体等 開催日: 平成28年6月10日 テーマ: 技能実習を巡り生じている不正行為等の状況と適正化に向けた留意事項 講師: 福岡入国管理局・在留審査部門 上席入国審査官 藤田智幸 (2)対象: 監理団体等 開催日: 平成29年2月21日 テーマ: 技能実習法(新法)の概要と今後必要な手続き等について 講師: 全国中小企業団体中央会 事務局次長兼労働・人材育成本部長 小林信 | ◎ | 1,000 | 監理団体及び実習実施機関に対し実地指導を実施するとともに、適正化に向けた講習会を2回開催する。 | 事業終了 | — | 鹿児島県中小企業団体中央会 | |
| 73 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | ○ | 各種貿易関係団体への負担金 | S36年度～ S28年度～ H11年度～ | 貿易関係団体(社団法人鹿児島県貿易協会、公益財団法人日本関税協会、鹿児島港利用促進協議会)に対し、負担金を支出することにより、海外貿易の促進や貿易業者の連携、及び鹿児島港における貿易・観光の促進を図り、地域経済の発展に寄与する。 | 448 | 1 実施方針 貿易関係団体に対し負担金を支出することにより、海外貿易の促進や貿易業者の連携、及び鹿児島港における貿易・観光の促進を図る。 | ◎ | 448 | 1 実施方針 貿易関係団体に対し負担金を支出することにより、海外貿易の促進や貿易業者の連携、及び鹿児島港における貿易・観光の促進を図る。 | 継続予定 | — | 産業政策課 | |
| 74 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | ○ | 日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター助成事業 | S46年度～ | 鹿児島市中小企業振興条例に基づき、日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター(ジェトロ鹿児島)の行う事業(地方貿易情報誌発行、講演会等開催、貿易投資相談、地方貿易振興事業など)に要する費用の一部を助成する。 | 1,300 | 1 実施方針 ジェトロ鹿児島が実施する事業に要する費用の一部を助成することにより、市内企業の海外への販路拡大支援や相談機能の充実を図る。 | ◎ | 1,300 | 1 実施方針 ジェトロ鹿児島が実施する事業に要する費用の一部を助成することにより、市内企業の海外への販路拡大支援や相談機能の充実を図る。 | 継続予定 | — | 産業政策課 | |
| 75 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | ○ | 輸出チャレンジ支援事業 | 24年度～ | 海外での販路拡大を支援するため、海外で開催される展示会等へ出展する中小企業者等に対し、その経費の一部を助成する。(補助率 1/2) 26年度からアジア以外の地域も対象に拡大 28年度から補助年度数、上限額を見直し | 1,604 | 28年度より下記の通り、補助限度額・上限額を拡充。 ・1～3年度目 20万円 ・4～5年度目 10万円 ○展示会等への出展経費の助成 助成実績 13件 地域別 東アジア(中国・香港) 6件 東南アジア(シンガポール) 2件 北米(アメリカ) 4件、南米(メキシコ) 1件 ○セミナーの開催 ジェトロ鹿児島との共催により、農林水産物・食品輸出商談スキルセミナーを開催(9/27) | ◎ | 1,806 | 引き続き、海外で開催される展示会等へ出展する中小企業者等に対し、その経費の一部を助成する。(補助率 1/2) | 継続予定 | — | 産業政策課 | 県、ジェトロ、金融機関等 |
| 76 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | ○ | 海外見本市出展支援 | — | 海外販路開拓を目的として海外の見本市へ出展する企業を支援。 | 非公開 | 出展支援事業 1.Hofex 2.Taifex 3.Food Taipei 4.Food Expo 6.ANUGA 7.PIR 8.Hongkong International Wine & Spirits 9.Winter Fancy Food Show 10.Gulfood | ○ | 非公開 | ・HOFEX ・Food Taipei ・Summer Fancy Food Show ・Food Expo ・Speciality and Fine Food Fair ・ANUGA ・World Food Moscow ・China Fisheries & Seafood Expo ・International Wine and Spirits ・FHM ・Winter Fancy Food Show ・Gulfood ・Natural Products Expo West等 | 継続予定 | — | ジェトロ | |
| 77 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | ○ | 海外商談会開催事業 | — | 海外販路開拓を目的として海外の見本市へ出展する企業を支援。 | — | H28.7 シンガポール食品輸出商談会 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | (公社)鹿児島県貿易協会 | ジェトロ鹿児島 |
| 78 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | ○ | そうしんTOBO会 | 2年度～ | 海外企業とのビジネスマッチング支援のため、平成2年度から貿易ミッション派遣事業(過去25回開催)を展開している。 | — | 平成28年6月15日(水)～6月17日(金) 中国大連 | ◎ | — | 平成29年10月～11月 ベトナム | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | |
| 79 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | ○ | かごしまの農畜産物輸出倍増事業 ※H27までは「かごしまの食輸出拡大事業」 | 28年度～ | 県産農畜産物等の輸出に意欲のある農業団体等への活動支援 | 2,519 | 農業団体等に対して支援(補助件数 3件) | ◎ | 3,000 | 農業団体等の事業要望を取りまとめ中 | 継続予定 | — | 県(農政課) | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|---|-------|---|------------------|--|----------|------------------|---|------------|---|----------------------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 80 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | | 製造業海外取引支援事業 ※H24までは「製造業アジア圏販路開拓支援事業」 | 23年度～ | アジアへの販路開拓を図ろうとする県内製造業者を対象に、海外市場動向等に係るセミナーの開催や海外商談会への出展支援、専門家の派遣等を実施し、新たな海外販路開拓を支援する。 | 7,690 | 1 海外へ取引拡大を検討中の企業への支援 ・セミナーの開催 ・専門家派遣 ・海外企業との取引可能性現地調査(タイ) 2 海外商談会への出展支援(台湾・インドネシア) ・ブース確保 ・パンフレット作成 ・通訳配置 3 具体的な販路開拓を図る企業への実務支援 ・実務支援 | ◎ | 6,136 | 1 海外へ取引拡大を検討中の企業への支援 ・海外企業との取引可能性現地調査 ・海外現地企業を本県へ招へい 2 海外商談会への出展支援 ・ブース確保 ・パンフレット作成 ・通訳配置 3 具体的な販路開拓を図る企業への実務支援 ・実務支援 | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | |
| 81 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | | 中小企業越境ECマーケティング支援事業 | 28年度 | ・越境EC勉強会の実施 ・海外EC関連サービス事業者とのマッチングイベントの実施 ・海外市場向けEC(モール・独自サイト)に出店する際のサイト構築費用等に対する補助金の実施 | — | ・利用者の募集 ・事業の実施 | ○ | — | 事業終了 | 事業終了 | — | 中小企業基盤整備機構 | |
| 82 | | 1 | 3 | 1 | 2 | | | | そうしん国内商談会(海外バイヤー招聘事業) | — | そうしん食&アグリビジネス交流会やTOBO会活動を通して、鹿児島島の優れた農産物加工食品を海外に輸出するため、韓国・台湾(中国)・香港バイヤーを招致しての「3ヶ国合同商談会」を開催した。 | — | — | ○ | — | — | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | |
| 83 | | 1 | 3 | 1 | 2 | | | | 海外バイヤーの招へい及び海外商談会 | 23年度～ | 海外バイヤーを招へい及び海外償還会を開催し、地場食品企業とビジネスマッチングを行う。 | — | 海外日本茶輸出商談会(11月鹿児島) | ○ | — | うんまか鹿児島輸出商談会(ジェットロは5社のバイヤーを招聘) | 継続予定 | — | ジェットロ鹿児島、ジェットロ九州ブロック | |
| 84 | | 1 | 3 | 1 | 2 | | | | かごしまブランド海外展開推進事業 | 23年度～ | 海外における県産品の販路拡大やかごしまブランドの構築のため、フェア開催やバイヤー等の招聘、イメージアップ広告、イベント等におけるPRを行う。 | — | 1. 食品バイヤー等の招聘 2. レストラン、ホテル等におけるフェア 3 アメリカでの広告展開 4. 天皇誕生日レセプションでの県産品PR(香港・シンガポール) | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | (公社)鹿児島県貿易協会 | 経済連 |
| 85 | | 1 | 3 | 1 | 2 | | | | 中小企業CEO商談会 | 24年度～ | 日本企業との連携を希望する海外企業経営者等を招聘し、海外展開を目指す中小企業者との商談会を行う。 | — | ・参加者の募集 ・商談会の実施 | ○ | — | 同左 | 継続予定 | — | 中小企業基盤整備機構 | |
| 86 | | 1 | 3 | 1 | 3 | | | | トップセールス推進事業 | 24年度～ | 香港・シンガポールにおけるアジア最大級の食品見本市に県内機関と一体となった出展を行い、オール鹿児島での県産品販路拡大をサポートする。 | — | 1. 香港における現地飲食店への県産品セールス 2. 上海における高級ホテルへの知事トップセールス | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | (公社)鹿児島県貿易協会 | 特産品協会 |
| 87 | | 1 | 3 | 1 | 3 | | | | クールジャパン推進事業 | 25年度～ | ジェットロが実施するBtoBへの支援を基本とするプロモーションを通じて、コンテンツ、ファッション、デザイン、食品等の分野における日本の魅力ある製品及びサービスを広くPRする。 | — | 事業概要の通り | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | ジェットロ | |
| 88 | | 1 | 3 | 1 | 3 | | | | 混載貨物輸出業者育成事業 | 27年度～ | 食品輸出の振興及び県内外貿易港の利用促進を図るため、県内食品企業の食品をとりまとめ、混載コンテナの仕立てや貿易書類の作成代行などの役割を担う混載貨物輸出業者を育成する。 | — | 6社、37件 | ○ | — | 2社以上の鹿児島県産食品を含む海上混載コンテナによる輸出業務を行う県内の貿易事業者、流通事業者及び生産者等を対象に、輸出実績数に応じた額助成を行う。 | 継続予定 | — | (公社)鹿児島県貿易協会 | |
| 89 | | 1 | 3 | 1 | 3 | | | | 航空貨物輸出促進事業 | 27年度～ | 鹿児島空港における冷凍・冷蔵コンテナの新設にともない、海外市場向け本県産品食品の輸出拡大及び鹿児島空港の利用促進を図るため、鹿児島空港を利用した食品を輸出する者に対して、輸出に係る経費の一部を助成する。 | — | 1社、2件 | ○ | — | 鹿児島空港貨物ビルに設置された冷凍冷蔵施設を利用した貨物に係る使用料の一部及び陸送費の一部に対し助成を行う。 | 継続予定 | — | (公社)鹿児島県貿易協会 | |
| 90 | 新規 | 1 | 3 | 1 | 3 | | | | トップセールス等連携事業 | 29年度～ | 知事や業界のトップセールス効果を最大限に活用して、消費者等への認知度向上を図り、新規取引先の開拓や定番化を促進する。 | — | — | — | — | 知事や業界のトップセールス効果を最大限に活用して、消費者等への認知度向上を図り、新規取引先の開拓や定番化を促進する。 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | |
| 91 | | 1 | 3 | 2 | 1 | | | | 情報活動事業 | 22年度～ | ① 貿易情報誌の発行 ② トレードダイレクトリー、会員ガイドブックの発行 ③ メーリングリストによる情報発信 | — | 1. 貿易情報誌の発行 2. メーリングリストによる情報発信 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | (公社)鹿児島県貿易協会 | |
| 92 | | 1 | 3 | 2 | 1 | | | | 貿易実務講座等の情報提供セミナー | — | 海外ビジネスを目指す事業者向けに貿易実務のノウハウ、各国のマーケット事情、品目別の輸出留意点等について情報提供を行う。 | — | ・マレーシアビジネスチャンスセミナー ・米国食品安全強化法セミナー ・農林水産物食品輸出商談スキルセミナー ・台湾食品市場開拓セミナー ・食品輸出に向けたハラールセミナー 等 | ○ | — | ・シンガポールビジネスチャンスセミナー ・農林水産物食品輸出商談スキルセミナー ・米国焼酎輸出セミナー ・外国人顧客のおもてなしスキルアップワークショップ 等 | 継続予定 | — | ジェットロ | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|-------|--------|------------------------|--------|---|------------------|---|----------|------------------|--|------------|---|-------------------------------------|---------|
| | | | | | | 1食の都 | 2外貨獲得 | 3新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 93 | | 1 | 3 | 2 | 2 | | | ○ | 貿易相談事業 | — | 各種貿易に関する相談に対する対応 | — | 261件 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | (公社)鹿児島県貿易協会 | ジェトロ鹿児島 |
| 94 | | 1 | 3 | 2 | 2 | | | ○ | そうしん海外貿易相談室 | 24年度～ | 貿易取引や海外進出を考えている方に、信金中央金庫を始め、各分野の専門家や海外拠点、各国公的機関と連携しながら各種金融サービスや相談業務を行う部署を新設。 | — | E-mailでの相談受付、専任担当者による個別企業等訪問などにより、随時相談業務を実施 | ○ | — | 日程未定 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | |
| 95 | | 1 | 3 | 2 | 2 | | | ○ | 海外ビジネス戦略推進支援事業 | 24年度～ | 海外市場に活路を見出そうとする中小企業・小規模事業者の海外展開に向けた戦略策定や販路開拓につなげるため、F/S(事業可能性調査)支援や、外国語Webサイト作成支援を行う。 | — | ・公募実施 ・事業の実施 | ○ | — | 同左 | 継続予定 | — | 中小企業基盤整備機構 | |
| 96 | | 1 | 3 | 2 | 2 | | | ○ | 国際化支援アドバイス | 23年度～ | 海外投資や国際取引などの海外ビジネスに悩みを持つ中小企業に対し、豊富な実務知識・経験・ノウハウを持つ海外ビジネスの専門家がアドバイスを(無料)。 | — | ・利用者の募集 ・アドバイスの実施 | ○ | — | 同左 | 継続予定 | — | 中小企業基盤整備機構 | |
| 97 | | 1 | 3 | 2 | 2 | | | ○ | 各種貿易投資相談 | — | 海外ビジネスを目指す事業者を対象に、アドバイザーが貿易投資関係の相談に対応。 | — | 事業概要の通り | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | ジェトロ | |
| 98 | | 1 | 3 | 2 | 2 | | | ○ | 新輸出大国コンソーシアム事業(専門家派遣等) | 27年度～ | 商工会議所、商工会、地方自治体、金融機関、政府機関などの支援機関を幅広く結集し、海外展開を図る中堅・中小企業等に対して、総合的な支援を行う枠組み。 ジェトロが事務局を務め、登録企業に対しては、希望があれば各分野に精通した専門家による支援を受けるこ | — | 事業概要の通り | ○ | — | 継続実施 | 未定 | — | ジェトロ | |
| 99 | | 1 | 3 | 3 | 1 | | | ○ | 鹿児島港湾整備事業(港湾負担金) | 開始年度不明 | 〔概要〕 国、県が実施する鹿児島港(重要港湾)の港湾整備事業等に対し、港湾所在都市(受益者)である本市が、根拠法令等に基づき事業費の一部を負担するもの。 〔目的〕 人・物・情報の行き交う国際性豊かな交流拠点や、健全かつ安心な海洋性レクリエーション基地の整備、物流機能及び臨港交通体系の充実、海とふれあえる魅力ある空間の創出を図る。 〔効果〕 高度な物流・快適な人流空間や多彩な交流空間、豊かな日常生活空間、多様で高質な産業空間等の形成が促進される。 | 164,772 | ○平成28年度実績 ◇本港区 ・岸壁(-5.5)(舗装工) ◇新港区 ・南防波護岸(改良)(上部工、消波ブロック製作工) ・岸壁(-4.5)(上部工、舗装工、付属工) ・物揚場(-4.0)(上部工、舗装工、付属工) ・臨港道路(路盤工、舗装工、歩道工) ・橋梁(補強) 調査・設計(補修工) ・緩衝緑地 設計(緑地整備) ◇鴨池港区 ・岸壁第二突堤(-4.5)(防食工) ・可動橋(改良)(防食工、補修工) ◇中央港区 ・谷山臨海大橋(補修工) ・臨港道路(木材港区線)(路盤工、舗装工) ◇谷山一区 ・南物揚場(-1.0)(防食工、舗装工) ◇谷山二区 ・岸壁(-7.5)調査・設計(補修工) ・防波堤(東)(基礎工) ・小型船浮桟橋(改良)(腐食対策工) ・岸壁(-7.5)(舗装工) ・岸壁(-9.0)(舗装工) ・鋼矢板護岸(防食工) | ◎ | 260,880 | ○平成29年度予定 ◇本港区 ・岸壁(-5.5)外(舗装工、付属工) ◇新港区 ・南防波護岸(基礎工、被覆工、消波工、上部工、排水工) ・臨港道路(新港区線)(路盤工、舗装工、歩道工) ・緩衝緑地(緑地整備) ◇鴨池港区 ・岸壁第一突堤(-4.5)(付属工) ◇鴨池港区～中央港区 ・臨港道路(鴨池中央港区線)(調査・設計、地盤改良工) ◇中央港区 ・谷山臨海大橋(調査・設計、地盤改良工) ・岸壁(-9.0)(付属工) ◇谷山一区 ・南物揚場(-1.0)外(防食工、付属工) ◇谷山二区 ・岸壁(-7.5)(地盤改良工) ・岸壁(-7.5)外(付属工) ・鋼矢板護岸(防食工) ・物揚場(-2.0)(測量・設計) ◇浜平川港区 ・船揚場(-1.0)(測量・設計) | 継続予定 | — | 鹿児島港湾・空港整備事務所 県港湾空港課 (市都市計画課) | |
| 100 | | 1 | 3 | 3 | 2 | | | ○ | 青果市場リニューアル事業 | 22年度～ | 〔概要〕 平成24年7月に策定した「鹿児島市中央卸売市場青果市場リニューアル基本計画」に基づき、市場施設の高度化及び活性化対策を推進し、青果市場の現在地でのリニューアルを行う。 〔目的〕 市場施設の老朽化や食の安全・安心の確保などに対応する。 | 831,393 | ○屋根付荷捌場(その3～その5)新築工事及び工事監理 ○卸売棟仲卸売場改修工事及び工事監理 ○連絡デッキ改修工事及び工事監理 ○管理棟EV新築工事及び工事監理 ○仲卸売場仮設店舗賃借 など | ◎ | 1,271,165 | ○屋根付荷捌場(その6・その7)新築工事及び工事監理 ○卸売棟仲卸売場(その2)改修工事及び工事監理 ○卸売棟仲卸売場(その1)改修工事及び工事監理 ○見学デッキ新築工事及び工事監理 ○場内整備測量設計業務委託 ○仲卸売場仮設店舗賃借 など | 継続予定 | — | 青果市場 | |
| 101 | | 1 | 3 | 3 | 2 | | | ○ | 魚類市場再整備事業 | 22年度～ | 〔概要〕 平成24年3月に策定した「鹿児島市中央卸売市場魚類市場再整備基本計画」に基づき、市場の建て替え及び活性化対策を推進する。 〔目的〕 市場施設の老朽化や食の安全・安心の確保などに対応する。 | 949,020 | ○市場棟(1期)解体工事及び工事監理 ○仮設関連店舗賃借 ○市場棟(1工区)・関連店舗棟新築工事及び工事監理 など | ◎ | 3,955,932 | ○市場棟(1工区)及び関連店舗棟新築工事及び工事監理 ○仮設関連店舗賃借 ○市場棟(2期)解体工事実施設計業務委託 など | 継続予定 | — | 魚類市場 | |
| 102 | | 1 | 3 | 3 | 2 | | | ○ | 食肉センター施設整備事業 | 8年度～ | 良質かつ安全・安心な食肉を安定的、効率的に供給できるよう、施設設備の維持更新と衛生基準に適合した施設設備の整備を行う。 | 672,607 | ○冷凍冷蔵設備工事及び同工事監理業務委託 ○小動物枝肉洗浄機取替工事 ○汚水処理施設・遠脱水機取替工事 ○本館棟防水改修工事 など | ◎ | 320,961 | ○冷凍冷蔵設備工事及び同工事監理業務委託 ○ろ布脱水機更新工事 ○高圧受配電盤更新工事 など | 継続予定 | — | 産業政策課 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 | | |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--------|---------------------|-------|--|-----------|---|------------------|-----------------|--|------|----------|---|------------------------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | | | |
| 103 | 拡充 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | ○ | 新産業創出支援事業 | 23年度～ | 本市の将来を牽引する新たな産業を創出するため、産学官で構成する「新産業創出研究会」に設置された部会の会員(企業)が取り組む新たな事業展開に対し、企業間・産学間における事業化支援を通じて、新製品・サービスの創出を促進する。 | 11,747 | 1 新産業創出研究会の開催(3回) 2 健康部会・新事業展開部会の開催(各2回) 3 健康部会分科会の開催(各2回) ・市民向け健康アクティビティプログラム分科会 ・ヘルスツーリズム分科会 4 産業振興アドバイザーの配置(2名) 5 専門家の派遣(9回) 6 マーケティング調査の支援(6件) 7 共同研究開発及び製品化等支援補助金(1年目:2事業者、2年目:3事業者) 部会員:68事業者 | ○ | 12,799 | 1 新産業創出研究会の開催(3回) 2 健康部会・新事業展開部会の開催(各2回) 3 産業振興アドバイザーの配置(2名) 4 <u>ヘルスケアビジネス事業化支援事業(3事業者)</u> <u>(専門家との個別相談を通じた事業化支援)</u> 5 かがしまTechミーティング <u>(鹿児島大学研究者との少人数制グループディスカッション)</u> 6 新産業創出支援事業補助金 ・新製品・サービス創出事業(1年目:3事業者、2年目:2事業者) ・ヘルスケアビジネス実証事業(2事業者) | 拡充予定 | | ・ヘルスケアビジネス事業化支援プログラムの実施 ・かがしまTechミーティングの定期開催 | 産業創出課 | 民間企業等 |
| 104 | | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | ○ | 新産業創出支援事業の受託実施 | 27年度～ | 本市の将来を牽引する新たな産業を創出するため、産学官で構成する「新産業創出研究会」に設置された部会の会員(企業)が取り組む新たな事業展開に対し、企業間・産学間における事業化支援を通じて、新製品・サービスの創出を促進する。 | 6,739 | 1 新産業創出研究会の開催(3回) 2 健康部会・新事業展開部会の開催(各2回) 3 健康部会分科会の開催(各2回) ・市民向け健康アクティビティプログラム分科会 ・ヘルスツーリズム分科会 4 産業振興アドバイザーの配置(2名) 5 専門家の派遣(9回) 6 マーケティング調査の支援(6件) | ○ | 4,968 | 1 新産業創出研究会の開催(3回) 2 健康部会・新事業展開部会の開催(各2回) 3 産業振興アドバイザーの配置(2名) 4 <u>ヘルスケアビジネス事業化支援事業(3事業者)</u> <u>(専門家との個別相談を通じた事業化支援)</u> 5 かがしまTechミーティング <u>(鹿児島大学研究者との少人数制グループディスカッション)</u> | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | 市 | |
| 105 | | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | ○ | ヘルスケア・ものづくり交流事業 | 27年度～ | 今後の市場拡大が期待されるとともに、中小企業の進出が大きく期待されるヘルスケア産業について、部材供給・新製品開発双方の視点から、県内モノづくり企業への支援を行い、同産業への参入を支援する。 | 3,800 | 1 医療機器産業参入・取引拡大支援事業 ・県外医療機器メーカーや大手医療・介護機器等卸業者訪問による課題把握、情報収集 2 医療・介護等機器開発・販路開拓支援事業 ・試作・研究開発費用の助成 ・展示会出展等に係る費用の助成 ・ヘルスケア関連機器のトライアル評価の助成 3 医工連携マッチングミーティング | ○ | 3,800 | 1 医工連携事業化研究会の設立 2 医療機器産業参入・取引拡大支援事業 ・県外医療機器メーカーや大手医療・介護機器等卸業者訪問による課題把握、情報収集 3 医療・介護等機器開発・販路開拓支援事業 ・試作・研究開発費用の助成 ・展示会出展等に係る費用の助成 ・ヘルスケア関連機器のトライアル評価の助成 | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | | |
| 106 | | 2 | 1 | 2 | 1 | | | | ○ | 創業・経営革新支援セミナー | — | 事業計画書作成方法や経営課題に対する解決方法を伝授するための少人数の講座を開催し、参加者に密着した形での創業・経営革新や経営基盤の安定強化に向けた具体的解決を支援する。 | 347 | 経営革新に取り組む前段階として各種補助事業にも必ず必要となる経営計画の作成を個別指導型で、1回2時間×4回実施した(27名受講)。 | ○ | 520 | 全2時間×4回程度で事業計画書の作成が完成する個別指導型のセミナーを開催 | 継続予定 | — | かがしま市商工会 | | |
| 107 | | 2 | 1 | 2 | 2 | | | | ○ | 中小製造業者創業・新分野進出等支援事業 | 25年度～ | 地域経済の活性化や雇用機会の確保を図るため、創業や新たな分野への進出、規模拡大に取り組む中小製造業者に対し、経営計画の策定、研究開発、設備投資等を支援し、また、独自の技術や第4次産業革命の技術を用いた新産業の創出を目指す取組の研究開発等を支援する。 | 95,195 | 1 対象者 創業や新分野への進出、規模拡大に取り組む県内に事業所を有する中小製造業者 2 対象分野 自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連の製造業 3 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)ソフト支援 ・経営計画の策定(2/3以内、800千円/年) ・人材育成(1/2以内、120万円/年) ・試作・研究開発(2/3以内、400万円/年) ・マーケティング・販路開拓(1/2以内、150万円/年) ・専門家の招へい(2/3以内、90万円/年) (2)ハード支援 ・経営計画に基づく製造の用に供する設備投資(新規雇用常用者数3人以上) (設備投資額(下限1千万円)×2%+新規雇用常用者数×30万円、2千万円) (3)ベンチャービジネス育成・支援 ・独自の技術を用いた新製品の研究・開発、試作品及び製品のトライアル供給(2/3以内、600万円/年) (4)先端技術活用推進 ・第4次産業革命の推進につながる新産業の萌芽となるような製品等の研究・開発、試作品製作、生産効率化(2/3以内、100万円/年) | ◎ | 191,111 | 1 対象者 創業や新分野への進出、規模拡大、新産業の創出に取り組む県内に事業所を有する中小製造業者 2 対象分野 自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ、航空機関連の製造業 3 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)ソフト支援 ・経営計画の策定(2/3以内、800千円/年) ・人材育成(1/2以内、120万円/年) ・試作・研究開発(2/3以内、400万円/年) ・マーケティング・販路開拓(1/2以内、150万円/年) ・専門家の招へい(2/3以内、90万円/年) (2)ハード支援 ・経営計画に基づく製造の用に供する設備投資(新規雇用常用者数3人以上) (設備投資額(下限1千万円)×2%+新規雇用常用者数×30万円、2千万円) (3)ベンチャービジネス育成・支援 ・独自の技術を用いた新製品の研究・開発、試作品及び製品のトライアル供給(2/3以内、600万円/年) (4)先端技術活用推進 ・第4次産業革命の推進につながる新産業の萌芽となるような製品等の研究・開発、試作品製作、生産効率化(2/3以内、100万円/年) | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | 一部委託先:(公財)かがしま産業支援センター | |
| 108 | | 2 | 1 | 2 | 3 | | | | ○ | かしんチャレンジマーケット | 24年度～ | 商品やサービスのPR販売と従業員の“売る気と技術”を磨くとともに、市場を肌で感じる場を提供する。 | — | 28年 4月27日 28年 5月 6日 28年 5月 6日 28年 9月15日 28年 9月16日 28年10月11日 28年11月14日 29年 1月18日 29年 1月19日 29年 2月28日 29年 3月15日実施。 | ◎ | — | 29年 4月26日 29年 5月17日 28年 6月23日 実施済。 年間11回開催予定。 | 継続予定 | — | 鹿児島信用金庫 | | |
| 109 | | 2 | 1 | 3 | 1 | | | | ○ | ベンチャープラザ開催事業 | 10年度～ | ベンチャー企業が開発した新商品・新技術について、企業経営者、金融機関、行政機関等のニュービジネスに興味・関心を持つ者に対する発表の場を提供し、併せて情報交換、商談の場を設けて販路開拓等の取り組みを支援する。 | 731 | 年3回実施(5月、11月、2月) ・発表企業は県内企業9社、県外企業3社 ・参加者 340名 | ○ | 1,321 | 年3回実施 | 未定 | — | (公財)かがしま産業支援センター(産業振興課) | | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|-----------------------|---------|--|------------------|---|----------|------------------|---|------------|---|-------------------------|-------------------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 110 | | 2 | 1 | 3 | 1 | | | ○ | 新事業等開拓支援プログラム事業 | 23~29年度 | 新たに取組もうとする研究開発等に対する事前調査(市場調査・成分分析調査等)、新製品の展示会への出展、新用途の調査に要する経費の助成を行う。 | 6,233 | 助成件数 ・新事業参入調査支援事業 2件 ・国内新市場開拓事業 12件 ・海外市場開拓事業 3件 | ○ | 8,000 | 助成計画件数 ・新事業参入調査支援事業 2件 ・国内新市場開拓事業 10件 ・海外市場開拓事業 2件 | 未定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(産業振興課) | 県、大学、公設試等 |
| 111 | 拡充 | 2 | 1 | 4 | 1 | | | ○ | 企業立地促進補助事業 | S60年度~ | 企業が雇用人員など一定の要件を満たして事業所等を設置する(増設を含む)場合の経費の一部を補助する。 (注1) 県立会による市町村との立地協定が必要 (注2) 用地等取得後3年以内の操業開始が要件 (注3) 補助対象となる設備投資額から、用地取得得費を除く 進出企業が雇用人員など一定の要件を満たして事業所を増設する(設備更新含む)場合の経費の一部を補助する。(H25年度~) (注1) 県立会による市町村との立地協定が必要 (注2) 進出企業(県外に本社又は親会社がある企業)が対象 (注3) 補助対象となる設備投資額から、用地取得得費を除く | 1,305,405 | H28年度実績: 31件(うち鹿児島市立地企業2件) | ○ | 1,305,405 | 企業が雇用人員など一定の要件を満たして事業所等を設置する(増設を含む)場合の経費の一部を補助する。 ⇒研究開発施設を新設・増設する際の補助率を加算(H29~拡充) | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | |
| 112 | | 2 | 1 | 4 | 1 | | | ○ | 環境・エネルギー広域連携事業 | 23年度~ | 企業立地法に基づき、わが国の成長分野を対象に、新規立地、付加価値増加、雇用創出を促進するため鹿児島県を含む九州4県で「環境・エネルギー関連産業」の更なる集積と高度化を図るため、情報交換や広域的な連携事業に取り組む。 | — | (計画なし) | ○ | — | (計画なし) | 事業終了 | — | (公財)かごしま産業支援センター(産業振興課) | 県、大学、公設試等 |
| 113 | 新規 | 2 | 2 | 1 | 1 | | | ○ | 木質バイオマス熱導入促進事業 | 29年度 | 木質バイオマス熱の利用を促進するため、産学官が連携して調査・研究を行う。 | — | — | — | 1,108 | 1 研究会の開催(3回/年) 2 木質バイオマス熱利用導入促進調査業務の実施 | 事業終了 | — | 再生可能エネルギー推進課 | 大学、関係団体、民間企業、金融機関 |
| 114 | | 2 | 2 | 3 | 1 | | | ○ | そうしんプレーン"21"ビジネスマッチング | 24年度~ | 地域中小企業同士の交流及び新たな受発注の取引拡大を推進するとともに、異業種動向の情報収集に繋がるビジネスチャンスの拡大とプレーン"21"企業の県内外への情報発信を支援する | — | 継続実施 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | |
| 115 | | 2 | 2 | 3 | 1 | | | ○ | 野村イノベーションマーケットへの参加 | 26年度~ | 野村証券が主催する、大学等で創出された知的財産のデータベースにデータを提供。 | — | 野村証券と協定を締結し、データの提供を開始 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 鹿児島大学産学官連携推進センター | |
| 116 | 拡充 | 3 | 1 | 1 | 1 | ○ | ○ | ○ | 中心市街地活性化推進事業 | 19年度~ | 第2期中心市街地活性化基本計画の総括を行い、第3期計画を策定するとともに、中心市街地活性化協議会に対する支援等を行うことにより、都市機能の増進及び経済活力の向上を促進する。 | 3,759 | 1 第2期計画のフォローアップ (1) 数値目標の達成状況 ① 歩行者通行量(30地点、土日) 基準値: 165,664人/日(H24) 実績値: 158,363人/日(H28) 目標値: 171,000人/日(H29) ② 年間入込観光客数 基準値: 7,762千人(H23) 実績値: 7,880千人(H27) 目標値: 8,100千人(H29) ③ 第三次産業従業者数 基準値: 62,939人(H21) 実績値: 60,565人(H26) 目標値: 64,000人(H29) (2) 計画掲載事業の進捗状況の把握 (3) 回遊性・満足度調査の実施 (4) 第2期計画の変更 H28.7.29 第5回変更(新規10事業、変更19事業) H29.3.24 第6回変更(新規2事業、変更11事業) 2 中活協議会に対する支援等 中活協議会の運営に要する経費の1/2未満を負担する。(商工会議所と折半) ・中活協議会の開催(3回) 第2期計画の変更(案)や定期フォローアップに関する報告等 3 庁内推進調整会議及び同幹事会の運営 4 第3期計画策定に向けた検討・準備 | ○ | 5,824 | 1 第2期計画のフォローアップ (1) 数値目標の達成状況の把握 ・歩行者通行量調査の実施 ・大規模事業所や商店街等対象の動向調査の実施など (2) 計画掲載事業の進捗状況の把握 (3) 回遊性・満足度調査の実施 (4) 第2期計画の変更 H29.7.28 第7回変更(新規3事業、変更5事業) (5) 最終フォローアップの実施 2 中心市街地活性化協議会に対する支援等 3 庁内推進調整会議及び同幹事会の運営 4 第3期計画の策定 30年度をスタートとする3期計画を策定し、国の認定を目指す。 | 継続予定 | — | 産業政策課 | 鹿児島市中心市街地活性化協議会 |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--|---------|---|------------------|---|----------|------------------|--|------------|---|--------------------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 117 | | 3 | 1 | 1 | 1 | | | ○ | 街なかサービス推進事業 | 24年度～ | 中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、観光案内、トイレ・ベビーカーの貸出等の街なかサービス及び特産品の情報発信を行う天まちサロンを運営する。 | 23,128 | 1 実施方針 中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、天まちサロンにおいて観光・イベント情報の提供やベビーカー貸出など街なかサービスのほか、特産品等の展示を行う。 2 事業実績 天まちサロン利用者数:75,172人(207人/日) サービス利用件数:60,455件 (1)来街者サービス(ベビーカー貸出、手荷物預かり等) (2)観光情報、特産品等の情報提供 (3)特産品等の展示 | ○ | 19,614 | 1 実施方針 中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、天まちサロンにおいて観光・イベント情報の提供やベビーカー貸出など街なかサービスのほか、特産品等の展示を行う。 2 スケジュール ※下記(1)～(3)は随時実施 (1)来街者サービス(ベビーカー貸出、手荷物預かり等) (2)観光情報、特産品等の情報提供 (3)特産品の展示 | 継続予定 | — | 産業支援課 | |
| 118 | | 3 | 1 | 1 | 1 | | | ○ | 街なか空き店舗活用事業 | 18～29年度 | 中心市街地内の空き店舗の有効活用やまちの賑わい創出のため、空き店舗を活用したテナントミックス事業やチャレンジショップ事業を行う商店街等に対して賃借料や改装費の一部を助成する。 | 3,572 | 1 実施方針 空き店舗を活用したテナントミックス事業で入居した事業者を支援 2 事業実績 店舗借上経費 5件 | ○ | 774 | 1 実施方針 29年度 店舗借上経費 2件 (28年度から新規募集をしない) (27年度申請継続分の店舗借上経費のみ補助) | 事業終了 | — | 産業支援課 | |
| 119 | | 3 | 1 | 1 | 1 | | | ○ | 鹿児島市中心市街地活性化協議会の運営 | 19年度～ | 鹿児島市が作成する中心市街地活性化基本計画並びに認定基本計画及びその他必要な事項を協議し、中心市街地の活性化の総合的かつ一体的な推進に寄与することを目的とする。 | 5,900 | 1 中活協議会の開催(年3回) 2 地区別施策説明会の開催(年1回×3地区) 3 情報発信事業(ホームページへの各種情報掲載) 4 空き店舗対策事業(店舗実態調査の実施) 5 商店街活性化事業への支援(商店街が実施するソフト事業に対し、支援措置の活用促進を支援) | ◎ | 7,615 | 1 中活協議会の開催 (1)第2期中活計画の進捗に関する意見交換 (2)フォローアップ報告等に対する協議会の意見集約 (3)第3期中活計画(案)に関する協議 2 中心市街地の活性化に関する事業 (1)中心市街地活性化に関連する会議等の開催 (2)商店街活性化事業への支援 (3)その他中心市街地の活性化に資する事 3 情報発信事業(ホームページへの各種情報掲載) 4 空き店舗対策事業(店舗実態調査の実施) | 継続予定 | — | 商工会議所、 まちづくり鹿児島 | 産業政策課 |
| 120 | | 3 | 1 | 2 | 1 | | | ○ | 中小企業振興条例に基づく助成事業(共同施設設置事業) | S48年度～ | 市内の商店街等が構成員の事業共同化のための共同施設や市民の利便を図るための共同施設(街路灯やアーケード等)を設置した場合に助成する。 | 10,318 | 1 実施方針 商店街からの要望等を踏まえ対応 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時対応 3 事業実績 3団体へ助成 | ○ | 18,321 | 1 実施方針 商店街からの要望等を踏まえ対応 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時対応 | 継続予定 | — | 産業支援課 | |
| 121 | | 3 | 1 | 2 | 1 | | | ○ | 明るい商店街づくり支援事業 ※H23年度までは「商店街活性化ソフト対策支援事業」で実施 | 24年度～ | 商店街の夜の魅力の創出や消費者が安心して買い物ができる環境づくりのため、市の共同施設設置事業の助成を受けて街路灯等を設置した商店街が維持管理する街路灯などの電気料の一部を助成する街路灯等点灯事業と街路灯等にリース契約により省エネ電球を導入した場合にリース料の一部を助成する省エネ電球導入事業を実施する。 | 7,631 | 1 実施方針 商店街の要望を踏まえ対応 2 スケジュール 年に2回(6月、11月)商店街からの申請に基づき実施 3 事業実績 街路灯等点灯事業 66団体に支援 省エネ電球導入事業 実績なし | ○ | 9,321 | 1 実施方針 商店街の要望を踏まえ対応 2 スケジュール 年に2回(6月、11月)商店街からの申請に基づき実施 | 継続予定 | — | 産業支援課 | |
| 122 | | 3 | 1 | 2 | 1 | | | ○ | 高度化事業(商店街整備等支援事業) | 16年度～ | 第三セクターなどが主体となって、商店街の中核的施設となるイベントホール、ポケットパーク、駐車場などを整備したり、ショッピングセンター型の共同店舗を設置し、運営するものに対して貸付などを行う事業。 | — | ・利用機関の募集 ・事業の実施 | ○ | — | 同左 | 継続予定 | — | 中小企業基盤整備機構 | |
| 123 | | 3 | 1 | 2 | 2 | | | ○ | 商店街歩行者通行量調査 | S49年度～ | 本市主要商店街における歩行者の流れや特徴を把握し、その分布状況及び動向を比較分析することにより、今後の商店街の振興を図っていくための基礎資料とする。 | 6,998 | 1 実施方針 ・前回(H26)と同じ155地点にて実施 2 スケジュール ・平成28年10月13日(木)、15日(土)、16日(日)の3日間にわたり実施 | ○ | — | ※隔年での調査のため、29年度は実施しない | 継続予定 | — | 産業支援課 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿兒島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|---|---------|--|------------------|---|----------|------------------|--|------------|---|----------------------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 124 | 拡充 | 3 | 1 | 2 | 2 | | | ○ | 頑張る商店街支援事業 | 19年度～ | 商店街等が、独自のアイデアや創意工夫を生かし、商店街の活性化を図るために実施する事業に助成する。 | 36,386 | 1 実施方針 商店街の活性化を図るために実施する事業について、商店街の特徴や現状・商店街づくりの方向性に沿った支援を行う。 〔補助対象事業〕 ・総合支援型:3-5年度間の事業計画を策定し、複数の事業を組み合わせることにより商店街づくりを総合的に進める事業 ・個別支援型:フラッグ作成やイベント開催等個別に実施する事業 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時実施 3 事業実績 ・総合支援型 We Love 天文館協議会など計7団体に支援 ・個別支援型 草牟田通り会など計28団体に支援 | ○ | 40,800 | 1 実施方針 商店街の活性化を図るために実施する事業について、商店街の特徴や現状・商店街づくりの方向性に沿った支援を行う。 〔補助対象事業〕 ・総合支援型:3-5年度間の事業計画を策定し、複数の事業を組み合わせることにより商店街づくりを総合的に進める事業 ・個別支援型:フラッグ作成やイベント開催等個別に実施する事業 〔29年度からの変更点〕 ・個別支援型の補助対象者に「3以上の事業者で構成されるグループ」を追加 ・個別支援型の1団体あたりの上限額を60万円から50万円に引下げ 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時実施 3 事業実績 ・総合支援型 We Love 天文館協議会など計8団体に支援予定 ・個別支援型 草牟田通り会など計30団体に支援予定 | 継続予定 | — | 産業支援課 | |
| 125 | | 3 | 1 | 2 | 2 | | | ○ | にぎわい商店街づくり支援事業 | 19年度～ | 商店街の経営実態調査、来街者、居住世帯の買物調査、現場診断の結果などを中小企業診断士等が分析し、商店街活性化のための提言や助言を行う。 また、商店街が中心となって「商店街づくり検討会」を組織し、診断士等の助言をもとに、「商店街づくり」の構想・計画などを策定する。 | — | ※実績なし | — | 3,515 | 1 実施方針 商店街からの要望等を踏まえ対応 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時対応 3 事業実績 2団体 | 継続予定 | — | 産業支援課 | |
| 126 | | 3 | 1 | 2 | 2 | | | ○ | 中小企業連携組織等支援事業(組合等連携強化指導事業(商業・サービス業)) | 23年度～ | 地域の商業・サービス業者等を対象とした連携強化の推進や人材育成、商店街の連携による新たなサービス、ソフト事業構築への支援を行うことを目的とする。 | 143 | 対 象: 赤帽鹿兒島県軽自動車運送(協) 開催日: 平成29年1月29日 テーマ: お客様から親しまれる赤帽ドライバーになるためのサービスの工夫 講 師: 敬和学園大学 講師 田巻華月 | ◎ | 221 | 対 象: 鹿兒島県内の任意通り会、商店街振興組合等 開催日: 平成29年10月10日 テーマ: 地域活性化シンポジウム～まちの魅力はまちの専門家に聞け! まちゼミで感動・再発見～ 講 師: 岡崎まちゼミの会 松井洋一郎氏 | 継続予定 | — | 鹿兒島県中小企業団体中央会(連携情報課) | 県 |
| 127 | | 3 | 1 | 2 | 2 | | | ○ | 谷山通り会連合会指導事業 | — | 商店街の活性化を図るため、まちおこしの先進地のリーダーや専門家を招へいして、講習会や懇談会を実施し商店街の事業運営を側面から支援する。 | 178 | 谷山商店街通り会連合会に対する運営指導を実施 ◎会議等 役員会2回・総会1回開催 ◎事業等 第37回谷山ふるさと祭りへの協力、消費者ふれあい市開催 ◎講習会 平成28年8月26日、「ぶらり商店街から見た鹿兒島再発見」と題し、よし侯とよしげ氏による講習会を開催した。 | ○ | 251 | 継続実施 | 継続予定 | — | かごしま市商工会 | |
| 128 | | 3 | 1 | 2 | 2 | | | ○ | 商店街を核とした共生・協働型のまちづくり活性化推進事業 | 21年度～ | 商店街を核とした共生・協働型のまちづくりの活性化を図るため、商工団体、地域住民、NPO、行政等が連携した推進体制を整備する。 | 617 | 商店街魅力アップ促進会議 年に1回の全体会議及び県内7つの地区で意見交換会を実施。 | ○ | 634 | 商店街魅力アップ促進会議 年に1回の全体会議及び県内7つの地区で意見交換会を実施予定。 | 継続予定 | — | 県(商工政策課) | |
| 129 | | 3 | 1 | 3 | 1 | | | ○ | よか店コラボ支援事業 ※24年度まで「地域密着店連携支援モデル事業」 ※27年度まで「地域のよか店コラボ支援事業」 | 23～28年度 | 商業・サービス業等を営む事業者同士が連携し、各事業者が持つ技能や商品価値などを生かして、商品やサービス等の認知度向上を図る情報発信等を行う取組に対して支援する。 | 144 | 1 実施方針 要望を踏まえ対応 2 スケジュール 年2回募集期間を設け実施した。 3 実施実績 1団体 4 実施実績が少なかった理由 平成28年度は、計画的に執行するために募集期間(2回)を設けたが、取組の実施時期により支援対象とならない事業があった。 | △ | — | 平成29年度から、事務の効率化や利用促進を図るため、頑張る商店街支援事業に統合し、よか店コラボ支援事業は廃止した。 | 事業終了 | — | 産業支援課 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 | |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--------|-----------------------|-------|---|--|--|------------------|--|--|------|----------|----------------|------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | | |
| 130 | | | | | | | | | | 地域繁盛店づくり支援事業 | 23年度～ | 実践的なセミナーと店舗での指導を組み合わせた研修会を開催し、地域商業の中核となる繁盛店を育成することにより、商店街全体の活性化につなげる。 | 1 実施方針 継続実施予定 2 スケジュール 9月～2月に重点的にセミナーと臨店指導を重点的に実施した。 3 実績値(28年度) 受講者: 6名 回数: 7回(セミナー形式3回、臨店指導4回) | ○ | 1,854 | 1 実施方針 継続実施予定 2 スケジュール 9～2月にセミナーと臨店指導を行う予定。 | 継続予定 | — | 産業支援課 | | |
| 131 | 新規 | | | | | | | | | 街なかりノベーション推進事業 | 29年度～ | 空き店舗等の再生を担う人材を育成し、民間主導のまちづくりを推進する。 | — | — | 8,604 | リノベーションスクールの開催等 | 未定 | — | 産業支援課 | | |
| 132 | | | | | | | | | | 商人塾 創業塾 | — | 短期・集中型の研修講座として、商業・サービス業における人材の育成を図るため「商人塾」を、創業の取組を支援するため「創業塾」を実施する。 | 1,953 | 商人塾 6回講座 35名受講 創業塾 6回講座 40名受講 | ○ | 2,240 | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | |
| 133 | | | | | | | | | | 商店街交流事業 | 22年度～ | 先進地視察・交流 | 387 | 商店街交流事業 視察地: 東京都台東区・世田谷区、神奈川県川崎市 実施日: 平成28年10月6日～7日 参加者: 9名 視察先: 谷中銀座商店街(振)、二子玉川東第二地区市街地再開発組合、モトスミ・ブルーメン通り商店街(振) | ◎ | 660 | 商店街交流事業(予定) 視察地: 福岡県北九州市、山口県下関市 実施日: 平成29年9月頃 参加者: 15名程度 視察先: 北九州家守舎、下関駅前再開発、黒崎こども商店街等 | 継続予定 | — | 鹿児島県商店街振興組合連合会 | 鹿児島市 |
| 134 | | | | | | | | | | 商店街振興組合指導事業(鹿児島県補助事業) | 22年度～ | 商店街振興組合役員・組合員を対象とした研修会の開催、情報提供を行う。 | 1,367 | I 指導事業 全振連 役員研修会 2回 全振連 青年部指導者研修会 1回 全振連 職員講習会 1回 II 商店街活性化研究会 ① 開催日: 平成28年12月14日 対象組合: 一番街商店街振興組合 テーマ: 「ベディストリアンデッキの活用による商店街活性化」 講師: 商店街(振)柏二番街商店会 理事長 石戸新一郎氏 ② 開催日: 平成29年2月20日 対象組合: 鹿屋本町一番街商店街振興組合 テーマ: 「アトム通貨による地域コミュニティの形成と街の活性化」 講師: 春日井市商店街連合会 副会長 青山博徳氏 ③ 開催日: 平成29年2月21日 対象組合: 天文館商店街(振連) テーマ: 「中心市街地の活性化と郊外の連携のために取り組むべきこと」 講師: 榎黒木本店 代表取締役 黒木敏之氏 III 商店街人材育成研修会(3回) ① 開催日: 平成28年8月10日 テーマ: 「天神地区再開発におけるWe Love天神協議会事務局の役割について」 ～鹿児島の再開発における商店街が担う役割について～ 講師: We Love 天神協議会 事務局次長 小林誠氏 ② 開催日: 平成28年12月19日 テーマ: 「地方創生・まちづくりのためのリーダー育成～人も地域もダイヤモンド～」 講師: 長島町 副町長(地方創生担当) 井上貴至氏 ③ 開催日: 平成29年2月7日 テーマ: 「次代へつなぐ! 鹿児島のまちづくり～博多駅周辺のまちづくりとJR九州がめざすもの～」 講師: 博多まちづくり推進協議会 事務局次長 中嶋敬介氏 IV 広報誌「街づくり かごしま」の発行。 年3回、各350部。商店街に関する情報提供、商店街の実施事業の紹介等。 | ◎ | 1,289 | I 指導事業 全国商店街振興組合連合会が主催する、役員講習会、職員講習会、青年部指導者講習会等への参加や、会員商店街の運営指導。 II 商店街活性化研究会 県下3商店街振興組合が抱える問題の解決への糸口をつかみ、活性化へと結びつけるための研究会を実施する。 (実施予定) ① 太平橋通り商店街(振) ② 加世田本町通商店街(振) ③ 天文館商店街(振連) III 商店街人材育成研修会(3回) 全会員を対象として、「リーダー育成」、「後継者育成」、「事務局強化」をテーマに研修会を開催する。 ① 開催日: 平成29年7月10日 テーマ: 「阿蘇神社に守られた商店街～復興に向け立ち上がった街の若きリーダーたち」 講師: 阿蘇一の宮門前町商店街 若きやもん会 前代表 杉本真也氏 ② 事務局強化(11月頃予定) ③ 後継者育成(1月頃予定) IV 広報誌「街づくり かごしま」の発行。 年3回、各350部。 商店街施策等の情報提供、各商店街事業の紹介等 | 継続予定 | — | 鹿児島県商店街振興組合連合会 | 鹿児島県 |
| 135 | | | | | | | | | | みせづくりブラッシュアップ事業 | 25年度～ | 小規模事業者が抱えている様々な経営課題の改善・解決を支援するため各分野の専門家を横断的に派遣する。 | — | ・支援件数0件 延指導回数0回 ※特に相談や派遣依頼などがなかったもの。 | △ | — | 継続実施 ※会員事業所等を中心に引き続き本制度の周知や広報等に努める。 | 未定 | — | 商工会議所 | |
| 136 | | | | | | | | | | 中心市街地商業活性化診断・サポート事業 | 16年度～ | 中心市街地活性化協議会又は中心市街地活性化法による活性化を検討する商工会議所・商工会・まちづくり会社等の組織、及び認定民間中心市街地商業活性化事業者である中小企業者に対し、セミナーの企画・立案支援や講師派遣、プロジェクトチームによる継続支援等を行う。 | — | ・利用機関の募集 ・事業の実施 | ○ | — | 同左 | 継続予定 | — | 中小企業基盤整備機構 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--|---------|--------|---|-----------|----------|---|-----------------|------------------------------------|-------------------------|----------------------------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 137 | | 3 | 1 | 3 | 2 | | | ○ | かしん経営大学公開講座 | 27~28年度 | | 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、市役所等の職員と地域住民を対象に講座を開催し、プロジェクトの提案を行う。 | ◎ | — | | 事業終了 | — | 鹿児島信用金庫 | | |
| 138 | | 3 | 1 | 3 | 2 | | | ○ | よろず支援拠点ミニスクール | 27年度~ | — | 「売上アップ」や「経営力アップ」に即つながらる少人数でのミニセミナーを行います。 | ○ | — | 36回程度開催予定 | 継続予定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(経営支援課) | | |
| 139 | | 3 | 1 | 4 | 1 | | | ○ | 元気の出る中小企業支援事業 | 7年度~ | 1,145 | 商工業の事業協同組合や商店街、中小企業者で組織するグループが開催する研修会等に講師を派遣する。 | ○ | 1,368 | 1 実施方針 対象団体の要望を踏まえ対応 2 スケジュール 対象団体の申請に応じ研修会を開催 3 事業実績 WeLove天文館協議会など計8団体に派遣 | 継続予定 | — | 産業支援課 | | |
| 140 | | 3 | 1 | 5 | 1 | | | ○ | ソーシャルビジネス促進事業 | 23年度~ | 651 | 新規創業者等に対する支援とあわせて地域・社会の課題をビジネスの手法を用いて解決するソーシャルビジネス事業者等の育成支援を行う。 | ○ | 405 | 新規創業者等育成支援事業と一括して鹿児島相互信用金庫に業務委託(H25.7~) ①SB事業者への助言指導(1M対応) | 継続予定 | — | 産業創出課 | 関係機関、民間企業等 | |
| 141 | | 3 | 1 | 5 | 3 | | | ○ | 市民とつくる協働のまち事業 | 18年度~ | 2,721 | 市民と行政との協働によるまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供する市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成する。 | ○ | 3,145 | 1 実施方針 市民と行政との協働によるまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供する市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成した。 2 実績 補助金額 2,531千円 補助団体数 17件 | 継続予定 | — | NPO、町内会等の市民活動団体(市民協働課) | | |
| 142 | | 3 | 2 | 1 | 1 | | | ○ | 「メイドインかごしま」支援事業(製造業アドバイザー派遣・経営力強化補助・新製品等支援補助・販路拡大推進補助) | 24年度~ | 8,131 | 本市中小企業(製造業者等)の新製品開発等の経営力の強化や商品の販路拡大の取組を支援する。 | ○ | 7,795 | 1 実施方針 継続実施 2 事業実績 (1)経営力強化補助:2件 (2)新製品等支援補助: ①新製品等開発:6件 ②新商品販路開拓:5商品 (3)販路拡大推進補助:19件 | 継続予定 | — | 産業支援課 | | |
| 143 | | 3 | 2 | 1 | 1 | | | ○ | クリエイティブ産業創出支援事業 ※H26まで「クリエイティブタレント育成支援事業」 | 25年度~ | 12,551 | 市内デザイナー等のスキルアップや製造業者等のデザイン面での事業革新を支援するため、「かごしまデザインアワード」を開催するとともに、市内企業等とデザイナー等のクリエイターとのビジネスマッチングの提供や人材育成セミナー等を実施し、デザイン業をはじめとするクリエイティブ産業の振興を図る。 | ○ | 10,862 | 1.「かごしまデザインアワード2016」の開催 ・課題提供企業:6者(企業課題部門:4者、パブリックデザインコンペ:1者、学生部門:1者) ・応募作品数:430作品 ・受賞作品数:9作品 2. クリエイティブ分野に関わる人材育成セミナー・アワード関連セミナーの開催 ・開催回数:7回 ・参加者数:延べ173名 3. かごしまクリエイターズオーディションの開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:企業22者、発表クリエイター13名 4. 受賞作品の商品化支援、マッチング機会の提供(テストマーケティング) ・開催期間:29年1月13日~22日 ・参加者数:企業9者 | 拡充予定 | パブリックデザインコンペへの応募対象を「全国の若手デザイナー」へ拡充 | 産業創出課 | | |
| 144 | | 3 | 2 | 1 | 1 | | | ○ | ものづくり重点業種支援事業 | 20年度~ | 17,175 | 本県の重点業種である自動車・電子・食品・新成長分野関連産業の振興を図るため、企業が行う研究開発、人材育成、販路拡大等の取組を一体的に支援する。 | ○ | 17,175 | □ 企業が行う新技術・新製品の研究開発に対する支援 ・対象業種:自動車・電子・新成長分野 ・補助率:2/3以内 ・かごしま産業支援センターに委託 □ 企業が行う人材育成、販路拡大等への支援 ・TPS研修会等の開催 □ 九州内における広域的連携組織への参画 | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | 一部委託機関: (公財)かごしま産業支援センタ | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容 (予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--|--------|--------|---|-----------|----------|--|---------------------|------------|--|--------------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 145 | | 3 | 2 | 1 | 1 | | | ○ | ・革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金(H28補正) ・ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業(H26補正) (ものづくり・商業・サービス革新補助金(H24補正～H25補正) ・ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金(H27補正)) | 24年度～ | 61,120 | 1. H26補正採択企業に対する確定検査、補助金交付 2. 成果事例発表会開催、成果事例集作成 開催日:平成28年9月8日 出展事業者:30事業者 セミナー:宇宙開発に“夢”託す北の町工場 講師:(株)植松電機 専務取締役 植松努 3. H27補正における公募及び採択企業に対する中間検査、確定検査、補助金交付 等 | ◎ | 126,000 | 1. H28補正における公募及び採択企業に対する中間検査、確定検査 等 2. 成果事例発表会開催、成果事例集作成 3. H24補正～H26補正補助金交付企業に対するフォローアップ(販路開拓等) | 継続予定 | — | 県中小企業団体中央会 | 中小企業庁、認定支援機関 | |
| 146 | | 3 | 2 | 2 | 1 | | | ○ | 特産品宣伝事業 | — | 2,610 | 1 実施方針 ①特産品ガイドブック作成:20,000部 ②特産品ガイドブックの配布 2 スケジュール 年間を通して実施 | ○ | 2,683 | 1 実施方針 ①特産品ガイドブック作成:20,000部 ②特産品ガイドブックの配布 2 スケジュール 年間を通して実施 | 継続予定 | — | 産業支援課 | | |
| 147 | | 3 | 2 | 2 | 1 | | | ○ | 伝統的工芸産業の活路開拓支援事業 | S55年度～ | 2,810 | 1 実施方針 継続実施 2 スケジュール (1)本場大島袖宣伝事業実施(10月～3月) (2)第10回ふれあい竹のいち開催(5月) (3)「薩摩焼フェスタ」開催(11月) | ○ | 2,810 | 1 実施方針 継続実施 2 スケジュール (1)本場大島袖宣伝事業実施(10月～3月) (2)第11回ふれあい竹のいち開催(5月) (3)「薩摩焼フェスタ」開催(11月) | 継続予定 | — | 産業支援課 薩摩焼フェスタ実行委員会 (鹿児島県薩摩焼協同組合、鹿児島市、鹿児島県、日置市、霧島市、始良市、(公社)鹿児島県特産品協会、(公社)鹿児島県観光連盟、南日本新聞社) | | |
| 148 | 新規 | 3 | 2 | 2 | 1 | | | | 「かごしま伝統の技と味」伝承対策事業 | 29年度～ | — | 伝統的工芸品等への理解と認識を深め、若い感性を活かしたモノづくりを促進するとともに、多様な働き方に対する意識の向上を図るため、学生等を対象にした講座や製造体験、製造者との交流会を実施する。 | — | — | ・小中学生を対象とした工芸品の製造体験を行う「かごしまの手仕事学校(仮称)」を実施予定 ・大学生等を対象に施設見学や製造工程の体験、職人等との意見交換等を実施予定 | 継続予定 | — | 公益社団法人鹿児島県特産品協会 | | |
| 149 | | 3 | 2 | 2 | 2 | | | ○ | ビジネスマッチング支援事業 | — | 2,153 | 平成28年度かごしま取引商談会 ・日 時:平成28年12月13日(火) ・参加企業:発注企業 32社 受注企業 68社 ・実績:商談成立件数 17件 初回取引金額 2,502千円 ミニ商談会を2回開催 | ○ | 2,954 | かごしま取引商談会を1回開催予定 ミニ商談会を2回開催予定 | 未定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(取引振興課) | | |
| 150 | | 3 | 2 | 2 | 2 | | | ○ | そうしん食&アグリビジネス交流会 | 20年度～ | — | 鹿児島県内の農畜産物・水産物生産者およびこれらの食品加工業者の販路拡大支援として、過去大小7回の商談会を実施した。また、平成23年度からは、鹿児島島の豊富な食と観光資源をまるごとPRし、多様な販路開拓支援を行うとともに、バイヤーや旅行エージェント等に、食と観光の情報発信と交流の機会を提供する商談会を開催している。 | ◎ | — | ①<開催日時>平成29年10月19日(木) <開催場所>霧島市 ②<開催日時>平成29年10月20日(金) <開催場所>いちき串木野市 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | | |
| 151 | | 3 | 2 | 2 | 2 | | | ○ | JETRO WEBサイト(J-File)、メールマガジン(さくら通信)による情報提供 | 25年度～ | — | ジェトロが実施するイベントや関係機関等が主催するイベントについて定期的に情報発信を図り、ジェトロのサービスを幅広くPRする。 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | ジェトロ | | |
| 152 | | 3 | 2 | 2 | 2 | | | ○ | 新規販路開拓支援事業 | 26年度～ | 9,743 | 第20回機械要素技術展(東京ビッグサイト)へ出展 ・出展企業 6社 ・実績 商談成立件数 20件 初回取引金額 26,326千円 第19回機械要素技術展(インテックス大阪) ・出展企業 4社 第11回メッセナゴヤ2016 ・出展企業 3社 | ○ | 9,049 | 第21回機械要素技術展(東京ビッグサイト)へ出展予定 第20回機械要素技術展(インテックス大阪)へ出展予定 第12回メッセナゴヤ2017(ポートメッセなごや)へ出展予定 | 継続予定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(取引振興課) | | |
| 153 | | 3 | 2 | 2 | 3 | | | ○ | J-GoodTech | 26年度～ | — | ・掲載企業募集 ・マッチング実施 | ○ | — | 同左 | 継続予定 | — | 中小企業基盤整備機構 | | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|---|---------|---|------------------|---|----------|------------------|--|------------|-------------------------------------|--------------------------|---------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 154 | | 3 | 2 | 3 | 1 | ○ | | | 食品加工技術強化事業 | 26~28年度 | 県内の食品製造業、機械製造業の現状を調査し、産学官が連携して行う食品製造業の加工力向上及びそのための機械設備の研究開発を支援する。 | 16,934 | ・食品製造業及び機械製造業の現地調査 ・共同研究の促進(4件) ・ラボツアーの開催(2回開催 148人参加) ・農工商等連携実践セミナー(2回開催 110人)、個別相談会(4回開催、10社) | ○ | — | — | 事業終了 | — | 県(産業立地課) | |
| 155 | 新規 | 3 | 2 | 3 | 1 | ○ | | | 食品加工技術レベルアップ支援事業 | 29年度~ | 県内の食品製造業、機械製造業の現状を調査し、産学官が連携して行う食品製造業の加工力向上及びそのための機械設備の研究開発を支援する。 | — | — | — | 10,152 | ・食品製造業及び機械製造業の現地調査 ・共同研究の促進 ・ラボツアーの開催 | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | |
| 156 | | 3 | 2 | 4 | 1 | ○ | | | 技術相談会 | 19年度~ | 中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、㈱鹿児島TLOと連携して技術相談・技術提携などの相談会を実施する。 | — | 1 実施方針 中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、㈱鹿児島TLOと連携して技術相談・技術提携などの相談会を実施する。 2 スケジュール ①平成29年2月「第10回技術相談会」を実施 12社参加 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 南日本銀行 | ㈱鹿児島TLO |
| 157 | | 3 | 2 | 4 | 2 | ○ | | | 新事業研究開発助成事業(H24までは研究開発助成事業) | S58年度~ | 研究開発型企業等が行う、新技術・新製品等の開発・試作に要する経費の一部を助成する。 | 3,112 | 助成件数 2件 | ○ | 3,384 | 助成計画件数 1件 | 未定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(産学官連携課) | |
| 158 | | 3 | 2 | 5 | 2 | ○ | | | 売場づくり支援事業 | — | 主に小売業での現場改善策を模索している小規模事業者、大企業等で実際に改善を担当してきた経験豊富な専門家等を企業に派遣し、現状分析及び具体的な改善策の提案、実施までを支援する。 | — | 6事業所・指導回数6回 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | |
| 159 | | 3 | 2 | 5 | 2 | ○ | | | 専門家派遣事業 | 12年度~ | 創業者や経営革新を図る中小企業者が抱える経営、情報化、販売、マーケティング等のさまざまな問題に対して、当センターに登録している民間の専門家を派遣し、診断助言を行う。 | 3,117 | 企業に対する専門家の派遣 11社 51回実施 | ○ | 4,887 | 企業に対する専門家の派遣 10社程度 80回(予定) | 継続予定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(経営支援課) | |
| 160 | | 3 | 3 | 1 | 1 | ○ | | | ソフトプラザかごしま管理運営事業 | 14年度~ | 本市情報関連産業の育成や地元中小企業の情報化を図るため、ソフトプラザかごしまの円滑な管理・運営を行う。 | 28,423 | 1 実施方針 本市情報関連産業の育成や地元中小企業の情報化を図るため、ソフトプラザかごしまの円滑な管理・運営を行う。 入居用施設入居状況(H29.3末現在) 全24室中16室入居 (県内枠:5室、誘致枠:8室、大学等枠:3室) | ○ | 28,780 | 継続実施 | 継続予定 | — | 産業創出課 | |
| 161 | | 3 | 3 | 1 | 1 | ○ | | | クリエイティブ人材誘致事業 | 28年度~ | 本市の都市機能の集積を生かし、製品等の高付加価値の促進や新たな価値を創造するクリエイティブ産業の創出を図るため、首都圏等に集中しているクリエイティブ人材を誘致し、産業集積を促進することにより、豊かで持続性の高いクリエイティブシティかごしまの実現を目指す。 | 3,931 | 1 UIターン施策 ・首都圏でのUIターンイベントの開催 場所 co-ba shibuya(東京) 参加者 19名 ・お試し移住イベントの開催 短期滞在参加 7名 長期滞在参加 2名 2 クリエイティブ人材誘致事業補助金 ・交付対象者 2者 (移住交通費補助1者、事業所改修費等補助1者) 【移住実績】 ・29年3月末現在 7名 | ○ | 3,861 | 1 UIJターン施策 ・首都圏でのUIJターンイベント開催 場所 co-ba shibuya(東京) 参加者 19名 ・お試し移住イベント開催 2 移住に関する補助金 ・移住交通費補助 ・事業所改修費等補助 | 拡充予定 | 移住補助金の対象者に「市内企業へクリエイターとして就職する者等」を追加 | 産業創出課 | |
| 162 | 新規 | 3 | 3 | 1 | 1 | ○ | | | クリエイターズオーディション開催事業 | 29年度~ | 本市デザイナー等のクリエイティブ人材と首都圏等の企業とのビジネスマッチングの機会を増加させることにより、本市クリエイティブ人材の活用を促進するとともに、クリエイティブシティ鹿児島としてのイメージを首都圏にPRすることで、クリエイティブ人材の誘致、企業立地の促進、本市クリエイティブ産業の振興を図る。 | — | — | — | 1,681 | 1. クリエイターズオーディションの開催 ・本市開催 ・東京開催 | 継続予定 | — | 産業創出課 | |
| 163 | 新規 | 3 | 3 | 1 | 1 | ○ | | | クリエイティブ産業創出拠点整備事業 ※H28まで「ソフトプラザかごしまリニューアル事業」 | 28年度~ | 創造的な新事業展開や新規創業をさらに促進し、地域産業の競争力強化を図るため、ソフトプラザかごしまリニューアル整備・運営基本計画に基づき、同施設をクリエイティブ産業創出拠点として整備する。 | 995 | 創造的な新事業展開や新規創業をさらに促進し、地域産業の競争力強化を図るため、ビジネス・インキュベーション施設として求められる役割や機能を整理し、リニューアル整備・運営基本計画を作成した。 (基本計画の主な内容) ・趣旨 ・基本方針 ・主な整備内容(ハード面) ・主な支援内容(ソフト面) | ◎ | 8,264 | ソフトプラザかごしまリニューアル整備・運営基本計画に基づき、同施設をクリエイティブ産業創出拠点として整備するため、建築・設備設計を行う。 | 継続予定 | — | 産業創出課 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容 (予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 | | |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|-------------|--------|---|------------------|--|----------|------------------|---|------------|---|---|-------|-------|--|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | | | |
| 164 | | 3 | 3 | 2 | 1 | | | ○ | 企業立地推進事業 | S61年度～ | 【目的】 市外企業の誘致や地元企業の増設等による企業立地を戦略的に推進し、本市商工業の振興、ひいては雇用の拡大及び確保に繋げる。 【概要】 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組みを実施する。 <重点産業> ・食関連産業 ・成長分野に関連する新産業 ・都市機能の集積を生かした産業 <取組み> ・優遇制度の充実、企業の人材確保支援等 ・情報収集及びPR、企業訪問等 | 155,393 | 1 実施方針、スケジュール 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組みを実施する。 ・企業立地促進補助金の制度拡充(28年4月) ・展示会への出展:28年11月 ・企業訪問:随時 ・ハローワークとの連携による企業説明会(新規) ・企業視察案内(学校、ハローワーク等) 2 立地協定:9社 | ◎ | 221,985 | 1 実施方針、スケジュール 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組みを実施する。 ・新規雇用者要件の緩和(29年4月) ・展示会への出展:29年11月 ・企業訪問:随時 ・立地企業の魅力発見の取組(新規)【ゼロ予算事業】 ・企業視察案内(学校、ハローワーク等) 2 立地協定:1社(平成29年7月5日現在) | 拡充予定 | | ・立地企業検討時の信用調査の導入 ・重点産業分野(新産業・都市機能・情報関連)等アンケート調査 ・新・企業立地ガイド版下製作業務 ・魅力的な立地環境づくりと立地企業のフォローアップ | | 産業創出課 | |
| 165 | | 3 | 3 | 2 | 1 | | | ○ | 首都圏における企業誘致 | — | 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組みを実施する。 <重点産業> ・食関連産業 ・成長分野に関連する新産業 ・都市機能の集積を生かした産業 <取組み> ・情報収集及びPR、企業訪問等 | — | ・産業創出課の展示会への出展支援:28年11月 ・首都圏の企業訪問:随時 ・立地協定:9社 うち関東は3社 | ◎ | — | ・産業創出課の展示会への出展支援:29年11月 ・首都圏の企業訪問:随時 ・立地協定:1社 うち関東は1社(平成29年7月5日現在) | 継続予定 | — | 東京事務所 | | | |
| 166 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | 講習会・講演会 | — | 商工業者の事業発展に必要な企業経営に関わる知識や技術など様々なテーマに関する情報を提供する | 5,716 | 36講座開催、1,864名受講 | ○ | 6,110 | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | | | |
| 167 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | 講習会・講演会 | 継続 | 地区内の小規模事業者の経営改善を図るための講習会及び講演会を開催する。 | 2,507 | 講習会の開催による指導 集団指導5回153事業所、個別指導41回537事業所 | ◎ | 2,500 | 継続実施。日程未定 | 継続予定 | — | かごしま市商工会 | | | |
| 168 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | エキスパートバンク事業 | — | 経営や技術など様々な専門的課題を抱えている小規模事業者を支援するため、専門的な技術・ノウハウ等を有する各分野の専門家や企業OBを直接事業所に派遣し具体的かつ実践的なアドバイスをを行い問題解決を図る。 | 5,769 | ・176事業所 ・延指導回数205回 | ○ | 6,000 | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | | | |
| 169 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | エキスパートバンク事業 | — | 小規模事業者が必要とする専門的・実践的技術・技能習得について、深い知識・実技・経験を有する専門家(エキスパート)を派遣し、具体的・実践的な事項について適切な指導・助言を行い、事業者の経営資質向上をめざす。 | — | 4事業所 延べ9回実施 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 鹿児島県商工会連合会(かごしま市商工会) | | | |
| 170 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | 南友会の運営 | 6年度～ | 鹿児島県の若手経営者、および後継者と弊行とが、共同して企業経営のあり方、地域経済、その他の諸問題について研究し、お互いの経営能力を高め、会員相互の交流を図ることを目的とする。 | — | 1 実施方針 鹿児島県の若手経営者、および後継者と弊行とが、共同して企業経営のあり方、地域経済、その他の諸問題について研究し、お互いの経営能力を高め、会員相互の交流を図っていく。 2 スケジュール (1)H28年7月セミナー 会員企業3社のプレゼンテーション (2)H28年10月講演会 「ゆとり・ユーモア・帰りは元気！」 (3)H28年10月 高知企業視察・地元経営者との交流会 (4)H29年1月セミナー 「教育を通じて日本を再興する」 (5)H29年3月セミナー 「トランプ新政権 どうなる日本経済」 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 南日本銀行 | | | |
| 171 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | ビジネスセミナー | 7年度～ | 中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、時事に応じたビジネスセミナーを実施する。 | — | 1 実施方針 中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、時事に応じたビジネスセミナーを実施する。 2 スケジュール (1)H28年4月 新入生向けセミナー 「第20回接遇・マナー研修」実施 (2)H28年8月 賃貸経営者向けセミナー 「相続税対策セミナー」実施 (3)H28年11月 賃貸経営者向けセミナー 「霧島地区」「鹿児島地区」「WAZZECAセミナー」実施 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 南日本銀行 | | | |
| 172 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | かしん経営大学 | 8年度～ | 経済に関する様々な知識の習得と異業種交流で事業計画作成に取り組む。 | — | 一般・自治体職員・当金庫職員あわせて50名が参加。地域ごとに7グループに分け、RESASを活用し、地域の分析、地方創生の為の事業計画を作成。 | ◎ | — | 第21期かしん経営大学 継続実施予定 | 継続予定 | — | 鹿児島信用金庫 | | | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容 (予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|-----------------------------|---------|---|------------------|--|----------|------------------|--|------------|---|-------------------------|--------------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 173 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | ○ | 中核的企業創出プログラム事業 | 20~29年度 | 自動車、電子、食品、成長産業(環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連産業)関連の有望な技術シーズ等を有するか、若しくはその市場に新たに参入する意思を持つ中小企業者に対して、本県において中核的企業(地域を牽引する中核的な企業として成長が期待される中小企業)としての創出に必要な各種事業の実施に要する経費の一部を助成する。 | 8,768 | 助成件数 新規:1社 継続:3社 | ○ | 19,971 | 助成計画件数 新規:2社 継続:2社 | 継続予定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(経営支援課) | |
| 174 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | かしんトップマネジメント大学 | 22年度~ | ○本講座を受講し、受講内容を経営に取り込み、企業の業績を向上させるとともに鹿児島県経済の浮揚を図ることを目的とする。 ○税理士や中小企業診断士による講義。 | — | 28年11月15日 28年12月14日 29年1月11日 29年2月8日 実施 | ◎ | — | 継続実施予定 | 継続予定 | — | 鹿児島信用金庫 | |
| 175 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | ○ | かごしま若手経営者育成事業(かごしま産業おこし郷中塾) | 24~28年度 | グローバル化の進展や人口減少、超高齢化社会の到来など、変革の時代に対応した戦略的産業興しを実践する人材の育成 【対象者】 40歳代までの、県内に本社又は事業所を有する中小企業の経営者、後継者、企画・戦略担当者 | 19,426 | カリキュラム(6月~2月 計6回) ①全体講義 経営哲学や先端事例等の講演 ②交流会 小グループでの議論、意見交換 ③実践講座(希望者のみ) 新規開発や販路拡大等の指導 ○参加者 97名(74社) | ◎ | — | — | 事業終了 | — | 県(商工政策課) | |
| 176 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | 地域中核的企業オンデマンド型成長支援事業 | 28年度~ | 企業の将来を担う中核人材の育成・確保や異業種連携等による製品の付加価値化等に関する成長課題を抱える地域中核的企業に対し、当該企業自らが成長課題解決のために新たに企画・実施するプロジェクトに対し補助金を交付することにより、これら企業の成長を支援し、もって地域経済の活性化に資することを目的とする。 | 7,150 | H28年度補助件数:3件 | ○ | 15,300 | H29年度採択件数:3件 | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | |
| 177 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | ○ | そうしんビジネス・イノベーション大賞 | 24年度~ | 地域経済の発展・振興等に優れた成果をあげた企業・団体を表彰し、地元中小企業の発展・育成に寄与することを目的とする。 | — | 平成28年10月実施 | ○ | — | 平成29年10月実施 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | |
| 178 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | ビジネスドクターナビ事業 | 25年度~ | 当所HP内に弁護士・税理士等の「士業」の専門家を資格ごとに案内する専用のページを開設し、事業者の課題解決のための士業者探しを支援する。 | 0 | ・登録専門家67件 | ○ | 0 | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | |
| 179 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | 中小企業経営革新支援事業 | — | 専門家等と連携して新商品や新サービスの開発、新事業分野への進出など、新たな取り組みを行う中小企業者の支援を行った。また中小企業新事業促進法に基づく経営革新計画の承認を目指す中小企業者に対して、計画作成から申請手続き、承認まで一連のサポートを行った。 | 0 | ・支援中小企業者数 2社 ・経営革新計画承認数 2件 | ○ | 0 | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | |
| 180 | | 4 | 1 | 1 | 1 | ○ | ○ | | よろず支援拠点事業 | 26年度~ | 中小企業・小規模事業者の売上拡大や経営改善等に対する一層の相談機能の強化を図るため、チーフコーディネーター等を配置し、総合的・先進的アドバイスやチーム編成を通じた支援、的確な支援機関等の紹介を行い、中小企業等の課題解決を図る「よろず支援拠点」を開設する。 | 69,999 | (1) 支援体制 ・チーフコーディネーター1名 ・サブチーフコーディネーター1名 ・コーディネーター8名 (2) 相談実績 3,318事業者 経営課題 7,372件 (3) セミナーの開催 27回 参加者:744名 (4) 各地区相談会等 16回 相談者:694名 | ○ | 86,000 | (1) 支援体制 ・チーフコーディネーター1名 ・サブチーフコーディネーター1名 ・コーディネーター8名 (2) 支援内容 ①経営革新支援 ②経営改善支援 ③ワンストップサービス | 継続予定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(経営支援課) | |
| 181 | | 4 | 1 | 1 | 1 | ○ | ○ | | プロフェッショナル人材戦略拠点事業 | 27年度~ | 県内中小企業の新製品開発、新規販路開拓をはじめとした各分野への新たなチャレンジを積極的に促し、その実現を担えるプロフェッショナル人材のマッチングをサポートする。 | 24,150 | 鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点を設置(H28.1.29)。 ・マネージャー等の設置 マネージャー 1名 サブマネージャー 1名 人材活用支援専門員 2名 ・相談件数 222件 ・プロフェッショナル人材戦略協議会 1回 ・企業成長セミナー 2回 ・プロフェッショナル人材求人相談会 1回 | ○ | 35,578 | ・マネージャー等4名配置 ・プロフェッショナル人材戦略拠点の運営 ・セミナーの開催 ・専門家派遣 | 継続予定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(産業振興課) | 国、県、中小企業支援機関 |
| 182 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | web経営相談事業 | 26年度~ | 経営相談窓口に来ることができない事業者が場所と時間を制約されずに必要な時にすぐ相談できるようインターネットを利用して回答するシステムを構築する。 | 0 | 相談実績1件 ※相談5件程度を見込んでいたが、実績が1件に留まったもの。 | △ | 0 | 継続実施 ※会報やメールマガジンなど、引き続き本制度の周知や広報等に努める。 | 継続予定 | — | 商工会議所 | |
| 183 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | 補助金情報ナビ事業 | 26年度~ | 国や県等によって創設されている様々な補助金情報をHPで提供するとともに、申請手続きの支援も併せて行う。 | 0 | 事業概要のとおり | ○ | 0 | 事業概要のとおり | 継続予定 | — | 商工会議所 | |
| 184 | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | かしん経営者フォーラム | 25年度~ | 経済・経営・財務・マーケティング・人事・労務等の経営学を中心とした勉強会を通じて企業と人の繁栄を目指す。 | — | 年間3回実施済 | ◎ | — | 継続実施予定 | 継続予定 | — | 鹿児島信用金庫 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 | |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|-------------------|--------|---|------------------|--|----------|------------------|---|------------|----------|---|-------|--|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | | |
| 185 | 拡充 | 4 | 1 | 1 | 2 | | | ○ | 中小企業資金融資事業 | S35年度～ | 本市中小企業者(事業協同組合等を含む)の資金調達を円滑にし、経営基盤の安定・強化を図る。 1.制度を利用する中小企業者に対する信用保証料補助 2.信用保証協会、商工中金に対する損失補償 3.商工振興資金利子補給(旧松元町) 4.災害対策資金の利用者に対する利子補給 5.金融ガイドブックの作成 | 277,361 | 1. 実施方針 本市中小企業融資制度の円滑な運用を図るとともに、経済状況に即応した事業資金調達が図られるよう適切に対応する。 (28年度変更点) ・産業振興資金、創業支援資金、新事業展開支援資金の保証料補助の一部拡大 ・創業支援資金の年齢要件の廃止や自己資金要件の緩和 2. 平成28年度実績 ①信用保証料補助(資金別件数) ・産業振興資金 1,174件 ・小規模企業支援資金 257件 ・特別小口資金 7件 ・経営安定化資金 26件 ・環境配慮促進資金 2件 ・創業支援資金 62件 ・新事業展開支援資金 4件 ・短期事業資金 3件 ②損失補償の実施 105件 ③商工振興資金に係る利子補給 2件 ④災害対策資金に係る利子補給 1件 | ○ | 351,220 | 1. 実施方針 本市中小企業融資制度の円滑な運用を図るとともに、経済状況に即応した事業資金調達が図られるよう適切に対応する。 (29年度変更点) ・融資利率の引き下げ(概ね0.1%) ・創業支援資金の要件緩和、融資対象者の拡大(自己資金要件の廃止、事業経験がある方の一部を融資対象者とする。(事業を始めて5年以内の市外事業を本市に移転する場合)) | 拡充予定 | | ・街なかりノベーション推進資金の創設 ・創業支援資金における保証料補助割合の一部拡大 | 産業支援課 | |
| 186 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | ○ | 新規開業支援利子補給金交付事業 | 19年度～ | 創業支援資金を利用する創業者に対して、借入後当初12月以内に支払った利子相当額を補助する。ただし、1件あたりの補助上限額は30万円とする。 | 3,233 | 1. 実施方針 創業者に対し利子補給を行い、利払い負担の軽減を図ることをもって、創業期の経営安定と事業の健全な発展を支援する。 2. 平成28年度実績(※H28.3月末までに融資実行された方が対象) 39件 | ○ | 5,155 | 1. 実施方針 創業者に対し利子補給を行い、利払い負担の軽減を図ることをもって、創業期の経営安定と事業の健全な発展を支援する。 ※H29.3月末までに融資実行された方が対象 | 継続予定 | — | 産業支援課 | | |
| 187 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | 地域総合整備資金貸付事業 | — | 地域振興に資する民間事業活動等が積極的に展開されるように、地方公共団体が、(財)地域総合整備財団(通称:ふるさと財団)の支援を得て、民間事業者等に無利子資金の貸し付けを行う。 | — | ・実績なし(活用団体なし) | — | — | 継続実施 | — | 産業支援課 | | | |
| 188 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | ワンストップ専門相談事業 | — | 様々な専門的相談に対応するため、毎月第2水曜日の午後、弁護士・税理士の専門家による個別・無料の相談会を実施。 | 236 | ・ワンストップ相談件数 16件 | ○ | 420 | 継続実施 | — | 商工会議所 | | | |
| 189 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | 金融指導事業 | — | 小規模事業者・中小企業者の資金繰りを支援するため、マル経資金の推薦や、日本政策金融公庫・県・市の制度融資の斡旋を行う。 | 1,728 | ・マル経推薦 43件 | ○ | 1,800 | 継続実施 | — | 商工会議所 | | | |
| 190 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | 金融指導事業 | — | 小規模事業者・中小企業者の資金繰りを支援するため、日本政策金融公庫・県市の制度融資の斡旋を行う | 927 | 平成28年度実績 ・あっせん件数 98件 ・斡旋金額 919,880千円 ・貸付件数 91件 ・貸付金額 799,970千円 | ○ | 960 | 継続実施 | — | かごしま市商工会 | | | |
| 191 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | 経営安定特別相談事業 | — | 倒産等の危機に直面している中小企業者に対して、商工調停士等の専門スタッフが再建の方策を講じ、問題の円滑な解決に向けた支援を行う。 | 1,176 | ・受付件数 10件 ・終結件数 6件 | ○ | 1,250 | 継続実施 | — | 商工会議所 | | | |
| 192 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | 経営安定特別相談事業 | — | 倒産等の危機に直面している中小企業者に対して、商工調停士等の専門スタッフが再建の方策を講じ、問題の円滑な解決に向けた支援を行う | — | 実績件数なし ※関係企業において、特に必要とする案件がなかったもの。 | △ | — | 継続実施 ※広報誌やホームページ・個別相談時など、引き続き本制度の周知や広報等に努める。 | 継続予定 | — | 鹿児島県商工会連合会(かごしま市商工会) | | |
| 193 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | 鹿児島県中小企業再生支援協議会事業 | 15年度～ | (九州経済産業局委託) 中小企業の再生に向けた取り組みを支援するため、競争力強化法に基づき設置し、事業の将来性はあるが、財務上の問題を抱えている中小企業を対象に、再生計画策定支援及び計画策定後のフォローアップを行う。 | 74,208 | ・相談企業数 99企業 ・再生取組案件 24企業 ・完了案件 20企業 | ○ | 75,120 | 継続実施 | — | 商工会議所 | | | |
| 194 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | 県中小企業融資制度運営事業 | 14年度～ | 本県中小企業者の経営の合理化及び経営の安定強化に必要な資金の融資を行うことにより、中小企業者の振興を図る。 | 73,486 | 汎用資金、経済活性化支援資金、経営安定対策資金の運営に係る保証機関に対する保証料補助 | ○ | 159,173 | 継続実施 | — | 県(経営金融課) | | | |
| 195 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | 消費税転嫁対策相談窓口相談等事業 | 25年度～ | 2段階にわたる消費税の引上げに備え、各地商工会議所において相談窓口を設置し、地域の中小・小規模事業者からの相談にワンストップで対応するため、個別相談、巡回相談、講習会等を実施することで、地域の中小・小規模事業者が消費税引上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるよう支援することを目的とする。 | 5,747 | ・セミナー・講演会11講座587名受講 ・窓口・巡回相談等1,640件 | ○ | 1,500 | 継続実施 | — | 商工会議所 | | | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H28の実施事業なし

資料3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--|--------|---|------------------|---|----------|------------------|---|------------|---|----------------------------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 196 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | 鹿児島県経営改善支援センター事業 | 25年度～ | 金融機関や税理士法人等の認定支援機関と連携して、自ら経営改善計画を策定することが困難な中小企業・小規模事業者の改善計画等の作成を支援する。 | 34,525 | ・延相談件数 143件 | ○ | 66,000 | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | |
| 197 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | 消費税軽減税率対策窓口相談等事業 ※H27まで「消費税軽減税率対策窓口相談等事業」 ※H25まで「中小企業等消費税軽減税率消化総合対策事業」 | 25年度～ | 消費税率の二段階にわたる引上げや制度変更の円滑な実施のため、個別相談派遣相談、講習会等の実施やパンフレット等による周知を行うことで、地域の中小・小規模事業者が消費税率引上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるよう支援することを目的とする。 | 1,136 | セミナー6回開催 個別相談窓口設置(常時) | ◎ | 2,000 | セミナー6回開催 個別相談窓口設置(常時) 専門家派遣事業2回 パンフレット等周知1回 | 継続予定 | — | 鹿児島県中小企業団体中央会 | |
| 198 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | かしん経営相談室 | 24年度～ | 事業承継・第二創業等、企業のライフサイクルに応じた経営相談を行う。 | — | 随時開催 | ○ | — | 随時開催 | 継続予定 | — | 鹿児島信用金庫 | |
| 199 | | 4 | 1 | 1 | 3 | | | | 中小企業新製品等利用促進市内展示会 | 22年度～ | 本市中小企業の新製品・新技術の受注機会の支援を図るため、県のトライアル発注制度で認定された本市中小企業者の製品等について、市庁舎内で展示会を開催するほか、必要に応じて、市関係課への製品説明会を実施し、本市による発注を促進する。 ・出展企業 ①県トライアル発注制度で認定を受けた製品等を開発した本市中小企業 ②「メイドインかごしま」支援事業(新商品販路開拓支援)で支援対象の中小企業 | — | 1 実施方針 県のトライアル発注制度で認定された本市中小企業者の製品等について、市庁舎内で展示会を開催し、本市による発注を促進する。 2 スケジュール 展示会開催(9月12日～16日) 3 出展企業 ①28年度県トライアル事業認定分:3社 ②メイドインかごしま支援事業対象分:6社 | ○ | — | 1 実施方針 県のトライアル発注制度で認定された本市中小企業者の製品等について、市庁舎内で展示会を開催し、本市による発注を促進する。 2 スケジュール 展示会開催(9月) 3 出展企業 ①29年度県トライアル事業認定企業 ②メイドインかごしま支援事業対象企業 | 継続予定 | — | 産業創出課 産業支援課 | 県 |
| 200 | | 4 | 1 | 1 | 3 | | | ○ | トライアル発注・販路開拓支援事業 | 17年度～ | 県内の中小企業等が開発した製品等について、県の機関が試験的に発注するとともに、県外での展示会等への参加を促進することなどにより、販路の拡大・受注機会の拡大を図る。 | 6,011 | 1 トライアル発注事業の実施 ①応募件数:13件(9社) ②選定結果:9件(7社) 2 トライアル発注製品販路開拓支援事業費補助金 ①応募枠3社 ②交付2社(250千円) | ○ | 6,011 | 1 トライアル発注事業の実施 県内の中小企業等が開発した新製品等を、県の機関が試験的に発注・使用 2 販路開拓支援事業の実施 トライアル発注選定企業が、当該製品等を県外での展示会等に出品する際の所要経費の一部を助成(補助率1/2、上限30万円) | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | |
| 201 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | | | 中小企業指導団体助成事業 | S28年度～ | 中小企業者及び事業協同組合等の総合的な向上改善と育成に努めている指導団体の事業の円滑な運営を促進する。 | 20,100 | ・鹿児島商工会議所 6,400,000 ・かごしま市商工会 10,500,000 ・県中小企業団体中央会 1,300,000 ・県商店街振興組合連合会 200,000 ・(一社)鹿児島市商店街連盟 1,500,000 ・(公社)鹿児島県工業倶楽部 200,000 | ◎ | 20,100 | 継続実施 | 継続予定 | — | 産業政策課 | |
| 202 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | | | 中小企業連携組織等支援事業(組合等運営活性化支援事業(組合青年部・後継者)) | — | 組合青年部会員、中小企業若手経営者及び後継者を対象に、組合設立の理念と重要性を次世代に引き継ぎ、また、若い経営者層の眼からみた新たな共同事業の可能性を模索するとともに、その過程において組合員間の連携を深めることにより、組合活動の活性化を模索する。また、組合の結束力強化のため、青年部組織の活性化を図る。 | 270 | ・青年部研究会 (1)対象:鹿児島県環境整備事業(協)青年部会 開催日:平成28年7月9日 テーマ:適正な労務管理と労働関連法令について 講師:北野社会保険労務士事務所 北野公朗 (2)対象:鹿児島県味噌醤油工業(協)平成会 開催日:平成29年2月27日 テーマ:中小企業のためのBCP対策 講師:(有)園田経営リスク研究所 代表取締役 園田恭久 ・青年部講習会 対象:全体 開催日:平成28年12月15日 テーマ:事業承継の本質 継ぐ覚悟・継がせる覚悟は出来たのか ～経営計画を使った、事業承継・事業再生～ 講師:(株)アテーナソリューション 代表取締役 立石裕明 | ◎ | 373 | ・青年部研究会 対象:未定、11月頃開催予定 ・青年部講習会 対象:全体、12月開催予定 | 継続予定 | — | 鹿児島県中小企業団体中央会(組織振興課・連携支援課) | 県 |
| 203 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | | | 事業承継円滑化支援 | 20年度～ | 中小企業の円滑な事業承継をサポートするために、事業承継フォーラムやセミナーの開催、事業承継支援ネットワークの構築支援等を行う。 | — | セミナーや研修会の実施、事業承継支援ネットワークの構築支援の実施。 | ○ | — | 同左 | 継続予定 | — | 中小企業基盤整備機構 | |
| 204 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | | | 事業承継相談ネットワーク | 20年度～ | 中小企業の事業承継が円滑になされることは、地域の雇用の機会及び経済活力の維持にとって重要な課題である。その課題解決のために、地域における事業承継支援機関及び支援者(金融機関、税理士等)が連携し、地域に根ざした支援ネットワークを形成することが求められている。 当金庫とTKC九州会鹿児島支部と提携し、金融機関と税理士の連携による事業承継への課題解決に向けた取組を行うことを目的として設立し、本部及び営業店にて随時実施している。 | — | 営業店より本部へ照会を行い随時行っている | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | TKC |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 | |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|---|-------|-------|--|-----------|---------------------------|---|-----------------|------------|-------------------------|----------------|-----------|------------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | | |
| 205 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | | | 事業承継セミナー | 22年度～ | | 年1回の頻度で実施。小企業経営者の高齢化が進展し、円滑な事業承継の重要性が高まると同時に、税務や自社株など様々な側面からの対策を検討する必要性があるため、県内中小企業経営者の今後の事業承継対策に役立てることを目的として、「事業承継」のポイントをわかりやすく解説する「事業承継セミナー」を開催している。 | — | 平成28年9月23日(金)ソーホーかごしまにて実施 | ○ | — | 5ヵ所開催予定 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | 中小企業基盤整備機構 |
| 206 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | | | 鹿児島県事業引継ぎ支援センター事業 | 28年度～ | 1,420 | 後継者問題や事業承継に関する課題等を抱えている中小・小規模事業者を支援すべく、専門相談員を配置し県内全域を対象に親族内・従業員承継に関するアドバイスや第三者承継に関するマッチング支援に取り組む。 | ○ | 7,600 | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | | | |
| 207 | | 4 | 1 | 3 | 1 | | ○ | | 「知的財産推進戦略」推進事業 | 19年度～ | 3,889 | 「鹿児島県知的財産推進戦略」に基づき、知的財産権制度の普及啓発及び相談窓口の設置などにより、本県の産業競争力の強化及び地域経済の活性化を図る。 | ○ | 3,796 | 1 知的財産活用推進員の設置 2 知的財産権制度に関する相談窓口の設置 3 知的財産に関するセミナー等の実施 4 「鹿児島県知的財産推進戦略」の改訂 | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | 事業者、大学、関係支援機関等 | | |
| 208 | | 4 | 1 | 3 | 2 | | ○ | | 中小企業等外国出願支援事業 ※26年度まで「地域中小企業外国出願支援事業」 | 24年度～ | 4,778 | 経済のグローバル化による国際的な事業展開や知的財産権侵害品へ対応するため、中小企業の戦略的な外国への特許出願等に対してその費用の一部を助成する。 | ○ | 9,647 | 助成計画件数 ・特許 4件 ・意匠 1件 ・商標 8件 ・実用新案 1件 ・冒認対策商標 1件 | 継続予定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(産業振興課) | 県、大学、公設試等 | | |
| 209 | | 4 | 2 | 1 | 1 | | | | 鹿児島市商工業振興関係機関連絡会議 | 23年度～ | 0 | 本市内には、中小企業等の経営や事業展開を支援する機関が集積し、それぞれが各種支援を行っていることから、各機関が有する支援メニューや情報を共有し、相互に連携することにより、事業者へのさらなる効率的・効果的な支援につなげる場として開催するもの。 | ○ | 0 | ○日時:平成28年8月10日(水) ○参加者:市10名、関係機関7名 ○内容 ・主な施策の確認、周知など | 継続予定 | — | 産業政策課 | | | |
| 210 | | 4 | 2 | 1 | 1 | | | | 中小企業支援機関連携推進会議 | 12年度～ | — | 中小企業に対する支援事業を効率的かつ効果的に実施するため、かごしま産業支援センターと県内の中小企業支援機関における連携のあり方及び支援方策等について協議し、支援体制の相互補完を行う。 | ○ | — | 第1回 日時:平成28年7月6日(水) 参加機関:国、県、各商工会議所、商工会、金融機関等48機関 第2回 日時:平成29年2月16日(木) 参加機関:国、県、各商工会議所、商工会、金融機関等43機関 | 継続予定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(経営支援課) | | | |
| 211 | | 4 | 2 | 1 | 1 | | | | 地域中小企業支援事業支援機関連携会議 | — | — | 鹿児島商工会議所、鹿児島県商工会連合会、かごしま市商工会の3支援機関と鹿児島市(産業支援課・産業創出課・雇用推進課)により、鹿児島地域の中小・小規模事業者支援に関する情報交換を目的とした連携会議を開催。 | ◎ | — | ○日時:平成28年10月25日(火)16:00～17:30 ○内容:①創業・経営革新支援の現状と課題について、②中小企業・小規模事業者に対する施策説明(鹿児島市) | 継続予定 | — | 鹿児島商工会議所、かごしま市商工会 | | | |
| 212 | | 4 | 2 | 2 | 1 | | | | 鹿児島市商工業振興プラン推進会議 | 23年度～ | 124 | 学識経験者・経済団体・行政等で構成する推進会議に対し、施策の進捗状況や成果指標の達成状況等を報告し、施策の見直しや新たな施策展開等について意見をいただき、本プランの推進を図るもの。 | ○ | 134 | ○日時:平成28年10月18日(火) ○参加者:市5名、関係機関12名 ○内容 ・プランの進捗状況の確認など | 継続予定 | — | 産業政策課 | | | |
| 213 | | 4 | 2 | 2 | 1 | | | | メール配信サービス事業 | — | 0 | 当所セミナー等の各種事業や、関係団体事業、各種経営情報をタイムリーに案内するため、メールマガジンを発信。発行は毎月5日と20日。 | ○ | 0 | 登録数2,584社 | 継続実施 | — | 商工会議所 | | | |
| 214 | | 4 | 2 | 2 | 1 | | | | 情報誌作成事業 | 12年度～ | 744 | 研究開発型企業等や中小企業支援機関向けに産業技術及び産学官の連携に関する情報等の提供を行う。 | ○ | 1,292 | 情報誌「KISC」を発行 年4回(季刊発行) 1,200部/回 | 未定 | — | (公財)かごしま産業支援センター(総務情報課) | | | |
| 215 | | 4 | 2 | 2 | 1 | | | | 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(ミラサポ) ※H25は「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」 | 25年度～ | — | 中小企業・小規模事業者(創業予定者含む)が専門家と経営・起業に関する情報交換や相談に対応できるように、ITクラウドを活用した経営支援システムを開発・運営をするとともに、高度な経営課題等の相談に対応するため、専門課派遣を行う。 | ○ | — | 専門家派遣実績数 商工会議所: 25社、35件 商工会: 2事業所 | 継続予定 | — | 商工会議所・かごしま市商工会 | | | |
| 216 | | 4 | 2 | 2 | 2 | | ○ | | 輸出チャレンジ支援セミナー(ジェットロとの共催) | 25年度～ | 0 | 輸出に興味のある中小企業者や、輸出チャレンジ支援事業の補助を受けた中小企業者を対象に、輸出に関するセミナーを実施し、新たに輸出にチャレンジする事業者の掘り起こしを行うとともに、輸出に関するスキルアップを図り、海外への販路開拓を促進する。 | ○ | 0 | ジェットロ鹿児島との共催によるセミナーを開催 ○日時 平成28年9月27日 ○参加者 41名 ○内容 ・農林水産物・食品輸出商談スキルセミナー | 継続予定 | — | 産業政策課 | ジェットロ | | |
| 217 | | 4 | 3 | 1 | 1 | | ○ | | 創業応援メール | 25年度～ | 0 | 創業者向けのメール配信、ブログ等を通じて、施策や会議所の情報を伝え創業相談者の創出を図る。 | ○ | 0 | 登録者数 108名 | 継続実施 | — | 商工会議所 | | | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 | |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--------|---------------------------------------|-------|--|-----------|--|------------------|-----------------|--|------|----------|----------------------------|--------------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | | |
| 218 | 拡充 | | 4 | 3 | 1 | 2 | | | ○ | 新規創業者等育成支援事業 | 20年度～ | 新規創業者等の育成支援のため、次の事業を行う。 (1)ソフトプラザかごしま、ソーホーかごしま入居者等に対する経営・販路面のアドバイスなど、成長のための支援 (2)新規創業者に対する創業準備のための支援 (3)SOHO支援イベント、セミナー等の開催 (4)創業支援関係機関と連携した取り組み また、産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」に沿って、関係機関と連携し新規当業者等の創業実現に取り組む | 7,212 | 鹿児島相互信用金庫等への業務委託により実施 ①新規創業者支援 ・IM(2名)が経営面、販路面のアドバイスなど成長のための支援を行う。 ②創業・ビジネスセミナーの開催 ・創業スキル養成講座・基礎編(6回シリーズ) ・創業スキル養成講座・実践編(5回シリーズ) ・さつまおごじ起業応援セミナー(新規) ・事業承継・第二創業サポートセミナー(新規) ・入居者等勉強会 ③販路開拓・マッチング支援 【特定創業支援事業】 ④ワンストップ相談窓口 (創業支援対象者数:202件、創業実現者数:24件) ⑤創業スキル関連講座 (創業支援対象者数:168件、創業実現者数:9件) ⑥インキュベーション事業 (創業支援対象者数:3件、創業実現者数:3件) | ○ | 7,373 | 鹿児島相互信用金庫等への業務委託により実施 ①新規創業者支援 ・IM(2名)が経営面、販路面のアドバイスなど成長のための支援を行う。 ②創業・ビジネスセミナーの開催 ・創業スキル養成講座・基礎編(創業カフェ・6回シリーズ) ・創業スキル養成講座・実践編(5回シリーズ) ・事業承継・第二創業サポートセミナー ・入居者等勉強会 ③販路開拓・マッチング支援 継続実施 【特定創業支援事業】 ④ワンストップ相談窓口 継続実施 ⑤創業スキル関連講座 継続実施 ⑥インキュベーション事業 継続実施 | 継続予定 | — | 産業創出課 | 関係機関、民間企業等 |
| 219 | 新規 | | 4 | 3 | 1 | 2 | | | ○ | 女性・学生・シニア起業チャレンジ支援事業 | 29年度～ | 起業、ベンチャーに関心や意欲を持つ女性、学生、シニアに対する相談・支援体制を充実するため、起業セミナー等の開催や相談支援を行う。 | — | — | — | 2,656 | 新規創業者等育成支援事業と一括して鹿児島相互信用金庫に業務委託 ①創業・ビジネスセミナーの開催 ・さつまおごじ起業応援のつどい(拡充) ・未来起業家応援セミナー(新規) ・セカンドステージ起業応援のつどい(新規) | 継続予定 | — | 産業創出課 | 関係機関、民間企業等 |
| 220 | | | 4 | 3 | 1 | 2 | | | | 中小企業連携組織等支援事業(組合等連携強化指導事業(創業・起業・新分野)) | — | 組合を対象とし、5つのテーマに基づき、セミナーを開催する。テーマは以下の通り。 ・事業再構築支援 ・新規事業展開 ・経営革新 ・労働問題 ・地域資源振興 | 921 | ・新規事業 対象:さつまも産業振興(協) 開催日:平成28年8月24日 テーマ:経営力向上計画の認定による中小企業の経営力向上 講師:中央会 対象:(協)地産ウッドセンター 開催日:平成28年9月13日 テーマ:経営力向上計画及び経営革新計画の認定による中小企業の経営力向上 講師:中央会 対象:鹿児島県菓子(工) 開催日:平成28年10月27日 テーマ:店売り可能な和洋菓子 講師:ものづくりマイスター 森信由紀 ・環境リサイクル 対象:鹿児島県運送事業(協連) 開催日:平成28年10月21日 テーマ:運送業界が求められる環境対策 講師:中小企業診断士 久留正成 ・地域資源振興 対象:鹿児島県漬物商工業(協) 開催日:平成28年5月28日 テーマ:和食の魅力と漬物業界の販路拡大策 講師:東京農業大学 名誉教授 小泉武夫 ・事業再構築 対象:鹿児島県農業機械商業(協) 開催日:平成28年5月20日 テーマ:組合の共同購買事業の方向性 日本の農業を元気にする!! ～われらノウキマン～ 講師:中小企業診断士 佐藤卓 ・経営強化・運営改善 対象:鹿児島個人タクシー事業(協) 開催日:平成28年8月26日 テーマ:組合における臨時総会と書面議決活用の必要性について 講師:中央会 対象:鹿児島県生コンクリート(工) 開催日:平成28年11月14日 テーマ:"はとバス"の経営改革～私の実践的企業経営論～ 講師:(株)はとバス 元社長 宮端清次 | ◎ | 1,007 | 組合等を対象とし、5つのテーマに基づき、セミナー等を開催する。テーマは以下の通り。 ・新規事業 対象:鹿児島県漬物商工業(協) 開催日:平成29年5月20日 テーマ:鹿児島県産漬物を活用した新たな商品開発を探る 講師:Table of Smile 代表 杉水流直子 ・環境リサイクル 対象・開催日等未定 ・地域資源振興 対象:鹿児島県蒲鉾(協) 開催日:平成29年6月6日 テーマ:デザイン・プロデュース力による蒲鉾商品の高付加価値化 講師:KATALSEVEN 代表 丈井彰一郎 ・事業再構築 対象・開催日等未定 ・経営強化・運営改善 対象:鹿児島県魚類市場売買参加者(協) 開催日:平成29年6月14日 テーマ:組合における財政基盤強化の必要性について～魚市場再整備に向けた中長期経営計画の策定～ 講師:中央会 | 継続予定 | — | 鹿児島県中小企業団体中央会(組織振興課・連携支援課) | 県 |
| 221 | | | 4 | 3 | 1 | 2 | | | ○ | 創業促進事業 ※H25は「地域需要創造型等起業・創業促進事業」 | 24年度～ | 新たに起業・創業や第二創業を行う者に対して、その創業等に要する経費の一部を助成する事業で新たな需要や雇用の創出を図り、我が国経済を活性化させることを目的とする。 | 63 | 1 今後の実施方針 平成24年度及び平成25年度補正事業者に対する事業完了後のフォローを実施することにより、新たな需要や雇用の創出を喚起して経済の活性化を図る。 2 スケジュール (1)補助事業者に対する事業化状況確認・支援、また連携による新たな組織化等の支援を実施する。 | ◎ | 754 | 1 今後の実施方針 平成24年度及び平成25年度補正事業者に対する事業完了後のフォローを実施することにより、新たな需要や雇用の創出を喚起して経済の活性化を図る。 2 スケジュール (1)補助事業者に対する事業化状況確認・支援、また連携による新たな組織化等の支援を実施する。 | 継続予定 | — | 県中小企業団体中央会 | 中小企業庁、認定支援機関 |
| 222 | | | 4 | 3 | 1 | 2 | | | ○ | (商人塾)創業塾(鹿児島市特定創業支援事業) ※「126」再掲 | — | 短期・集中型の研修講座として、商業・サービス業における人材の育成を図るため「商人塾」を、創業の取組を支援するため「創業塾」を実施する。 | (1,953) | (商人塾 6回講座 35名受講) 創業塾 6回講座 40名受講 | ○ | (2,240) | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | 市(産業創出課) |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 | | |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|------------------------------------|---------|--------|---|-----------|--|---|-----------------|---|-----------------------|----------------------|-----------|----------------------|---------------------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | | | |
| 223 | | 4 | 3 | 1 | 2 | | | ○ | 経営指導員・専門家等によるハンズオン支援(鹿児島市特定創業支援事業) | 26年度～ | | 産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」に沿って新規当業者等の創業実現に取り組むもので、経営指導員によるアドバイス、税理士・中小企業診断士等による専門家個別相談などを実施。 | — | 創業支援対象者数:71件、創業実現者数:29件 | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 商工会議所 | 市(産業創出課) | |
| 224 | | 4 | 3 | 1 | 2 | | | ○ | 新規創業等育成支援事業の受託 | 25年度～ | | 鹿児島市から、市の新規創業等育成支援事業について業務委託を受け、主にセミナーや新規創業のための講義等を実施する | — | ①インキュベーションマネージャーの配置 ②創業スキル養成講座(基礎編)(全6回開催) ③創業スキル養成講座(実践編)(全5回開催) ④情報関連セミナー、入居者勉強会の開催 ⑤ソーシャルビジネス事業者支援(助言、マッチング支援、アドバイザー派遣、データベース管理) ⑥鹿児島市新規創業事業の広報・アンケート実施及び市インキュベーションセンターの入居者募集等 | ◎ | — | 以下の内容にて実施予定 ①インキュベーションマネージャーの配置 ②創業スキル養成講座(基礎編)(全6回開催) ③創業スキル養成講座(実践編)(全5回開催) ④情報関連セミナー、入居者勉強会の開催 ⑤ソーシャルビジネス事業者支援(助言、マッチング支援、アドバイザー派遣、データベース管理) ⑥鹿児島市新規創業事業の広報・アンケート実施及び市インキュベーションセンターの入居者募集等 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | 市 | |
| 225 | | 4 | 3 | 1 | 2 | | | ○ | 地域活性化起業家支援事業 | 27～28年度 | 57,923 | 1 対象地域 過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づく過疎指定地域、半島振興法の規定に基づく半島振興対策実施地域、離島振興法等の適用される地域などの地域 2 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)起業家支援事業 対象地域において1年以内に起業する者に対し、起業に必要な初期投資を助成(補助率等)3分の2以内 上限50万円 ・支援件数:18件 (2)スタートアップ支援事業 対象地域において起業後2年未満の事業者に対して、創業初期に必要な経費を助成(補助率等)3分の2以内 上限200万円 ・支援件数:21件 | ◎ | — | — | 事業終了 | — | 県(産業立地課) | 委託先:(公財)かごしま産業支援センター | | | |
| 226 | 新規 | 4 | 3 | 1 | 2 | | | ○ | 起業家スタートアップ支援事業 | 29年度～ | — | 起業を志す者等に対し、起業のために要する負担の軽減を図ることにより、起業しやすい環境を整備することで、起業を通じた新たな雇用の創出や、若者・女性の活躍の場の拡大、地域の活性化を図る。 | — | 74,325 | 1 対象業種 サービス業(新聞業・出版業は除く。), 卸売・小売業 2 対象経費 店舗改装費、設備費、広報費、外注費、旅費等 3 対象地域 県内全域 4 補助率等 補助率:対象経費の2/3以内 補助限度額:上限100万円 | — | 74,325 | 継続予定 | — | 県(産業立地課) | 委託先:(公財)かごしま産業支援センター | |
| 227 | 新規 | 4 | 3 | 1 | 2 | | | ○ | 経営指導員・専門家等によるハンズオン支援(鹿児島市特定創業支援事業) | 29年度～ | — | 産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」に沿って新規当業者等の創業実現に取り組むもので、経営指導員によるアドバイス、税理士・中小企業診断士等による専門家個別相談などを実施。 | — | — | 谷山・吉田・桜島・喜入・松元・郡山地区における経営指導員・専門家等によるハンズオン支援を実施 | — | — | 継続予定 | — | かごしま市商工会 | 市(産業創出課) | |
| 228 | | 4 | 3 | 1 | 3 | | | ○ | ソーホーかごしま管理運営事業 | 16年度～ | 17,439 | 1 実施方針 SOHO事業者を育成・支援するための拠点施設「ソーホーかごしま」の管理・運営を行うことにより、ベンチャービジネスの展開や新規創業を促進し、本市経済の活性化を図る。 2 入居用施設入居状況(H29年3月末現在) 全21室中21室入居 (企業:6、個人・グループ:15、NPO法人等:0) | ○ | 19,047 | 継続実施 | 継続予定 | — | 産業創出課 | | | | |
| 229 | 新規 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | ○ | 人材マネジメント強化事業 | 29年度～ | — | 食品関連企業の経営者等を対象に、職場環境改善や処遇改善に対する理解や意識の醸成を図るためのセミナーの開催や、職場環境改善等を実践しようとする企業に対する専門家(アドバイザー)の派遣を行い、その取組を支援することで、食品関連産業における、働きやすく、働きがいのある職場環境の創出や、非正規から正社員への転換を促進し、安定的な雇用の確保を図る。 | — | 6,901 | 1 職場環境・処遇改善に関するセミナーの開催 2 職場環境改善等に関する専門家(アドバイザー)の派遣 (1)対象事業者 県内食品関連企業 8社 (2)専門家派遣の内容 ①職場内研修・会議開催に対する支援 ②職場環境整備に対する助言・指導等 (3)派遣回数 1企業当たり 5回 | — | 6,901 | 継続予定 | — | 県(商工政策課) | | |
| 230 | | 4 | 3 | 2 | 2 | | | ○ | 商談スキルセミナー | 25年度～ | — | 海外見本市や、国内商談会等の事前準備として、同セミナーを実施する。商談の成果をより高めるため商談のノウハウ等を提供する。 | — | — | 継続実施 | 継続予定 | — | ジェトロ | | | | |
| 231 | | 4 | 3 | 2 | 3 | | | ○ | 「地(知)の拠点整備事業(COC)」の展開 | 26年度～ | 42,942 | 鹿児島大学と地域との連携の核となるセンターを設置する。 | — | 42,942 | 「地(知)の拠点整備事業(COC)」を展開 | ○ | 33,590 | 「地(知)の拠点整備事業(COC)」を展開 | 継続予定 | — | 鹿児島大学 | 鹿児島県、鹿児島市、薩摩川内市、与論町 |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|--------------------------------|--------|--|------------------|--|----------|------------------|---|------------|---|----------------------------------|--------------------------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 232 | | 4 | 3 | 2 | 3 | | | ○ | 「起業のための人材育成」の開講 | 26年度～ | 起業マインドを持つ人材の育成を目的とした共通教育の授業(対象は全学部学部学生)。講師には本学教員のほか、鹿児島銀行と野村證券との「産学連携授業に関する連携協定書締結」により、授業実施において協力を得ている。 | — | 「起業のための人材育成Ⅰ・Ⅱ」を開講した。 | ○ | — | 「起業—ビジネスの発見と創出」を前期で開講 | 継続予定 | — | 鹿児島大学 | 鹿児島銀行 野村證券 |
| 233 | | 4 | 3 | 2 | 3 | | | | 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」開始 | 27年度～ | 地(知)の拠点大学が、地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、地域が求める人材を養成するための教育カリキュラムの改革を行うことにより、地方創生の中核となる「ひと」の地方への定着を促進することを目的とした文部科学省の事業。 | 60,143 | COC+大学である鹿児島大学をはじめ、COC+参加校(鹿児島国際大学、志学館大学、鹿児島県立短期大学、鹿児島女子短期大学等)や鹿児島県、企業団体等の事業協働機関と連携協働することにより、5年後の卒業者の県内就職率を平成26年度卒業者の就職率より7.5%増を目指す事業目標とするCOC+事業を推進した。 ※事業費はCOC+参加校(7校)分を含む | ○ | 59,650 | 平成29年度も同様に卒業者地元定着促進に向けて、COC+大学(鹿児島大学)、COC+参加校(7校)、鹿児島県、鹿児島銀行及び企業団体等と連携協働して事業を推進する。 ※事業費はCOC+参加校(7校)分を含む | 継続予定 | — | 鹿児島大学産学官連携推進センター | 県内高等教育機関7校、鹿児島銀行、14企業団体等 |
| 234 | | 4 | 3 | 3 | 1 | | | | ものづくり職人人材マッチング事業 | 23年度～ | ものづくりに興味のある若年者への職場体験等の場の提供やホームページを活用した職人等の魅力の情報発信により、担い手の掘り起こしを行い、ものづくり分野での就職・起業につなげる。 | 3,780 | ・イベント参加者 37名 ・マッチングマッチング(就職) 10件、若年者の求職登録 406件 | ○ | 3,827 | ・イベントの実施 ・マッチング | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 235 | | 4 | 3 | 3 | 1 | | | | 若年者のための就職面談会 | — | 若年者の県内就職を促進するため、就職面談会等を開催する。 | — | (28年度実績) ・6月25日、9月20日、2月25日、3月28日(鹿児島市) | ○ | — | 継続実施 | 継続予定 | — | 県(雇用労政課)、鹿児島労働局、鹿児島県若者就職サポートセンター | |
| 236 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | 雇用対策連携協定(旧:労働関係相談及び雇用促進事業) | S49年度～ | 雇用対策連携協定 鹿児島労働局と締結した協定に基づき、鹿児島市域の雇用・労働環境の充実に向けた取組を推進する。 | 2,449 | (1)雇用相談室の設置 ・雇用・労働に関する各種相談 ・無料職業紹介 ・シルバー人材センターコーディネーターによる事業紹介等 ※28年10月に生活自立支援センターやハローワーク窓口等の複合窓口である生活・就労支援センターかごしまが設置されたことに伴い、無料職業紹介については廃止した。 【28年度実績】 相談件数 435件 無料職業紹介 紹介状作成17件 就職件数8件 (2)雇用対策連携協定 協定に基づく事業計画を策定し、雇用・労働環境の充実に向けた取組を推進 | ○ | 182 | 雇用対策連携協定 協定に基づく事業計画を策定し、雇用・労働環境の充実に向けた取組を推進 ※雇用相談室は生活・就労支援センターかごしまへ統合 | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 237 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | 就職困難者等雇用促進助成事業 | S63年度～ | 障害者等就職困難者の雇用機会の増大及び雇用の定着を図るため、市内に事業所を有する中小企業の事業主が、市内に住所を有する就職困難者等を継続して雇用する労働者として雇い入れた場合に、事業主に対し奨励金を支給する。 | 4,626 | 就職困難者等雇用奨励金を支給した。 <対象者> 対象労働者:市内に住所を有する身体障害者等、高齢者、精神障害者、母子家庭の母等、父子家庭の父、生活保護受給者等及びその他就職が特に困難な者 <奨励金の額> 重度障害者、精神障害者等:月額6,000円を12ヶ月間 重度以外の障害者:月額3,000円を12ヶ月間 高齢者(60歳以上)、母子家庭の母等、父子家庭の父、生活保護受給者等及びその他:月額3,000円を6ヶ月間 【平成28年度実績】 171事業所 200人 | ○ | 6,234 | 就職困難者等雇用奨励金を支給する。 <対象者> 対象労働者:市内に住所を有する身体障害者等、高齢者、精神障害者、母子家庭の母等、父子家庭の父、生活保護受給者等及びその他就職が特に困難な者 <奨励金の額> 重度障害者、精神障害者等:月額6,000円を12ヶ月間 重度以外の障害者:月額3,000円を12ヶ月間 高齢者(60歳以上)、母子家庭の母等、父子家庭の父、生活保護受給者等及びその他:月額3,000円を6ヶ月間 | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 238 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | 高齢者就業機会確保等事業 | S56年度～ | 臨時的・短期的な就業を通じて、定年退職者等に就業機会を提供するシルバー人材センターを育成することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりを図り、活力ある地域社会づくりを推進するとともに、高齢者のもつ知識・経験や技能・技術を就労分野において積極的に活用促進する。 | 63,186 | (1)(公社)鹿児島市シルバー人材センターへの助成 高齢者の就業機会の拡大と福祉の向上に取り組むシルバー人材センターに対し各種事業や運営に要する経費を助成し、28年度はワンコインサービスに対する助成を拡充した。 (2)就労促進ガイドブックの発行 高齢者雇用に関するセミナー等の情報を掲載した紹介冊子を発行(8,000部) (3)ITスキルアップ講座の開催 再就職を目指す高齢者を対象とした効果的なビジネスソフトの活用法等のパソコン講座を開催。 | ○ | 62,400 | (1)(公社)鹿児島市シルバー人材センターへの助成 高齢者の就業機会の拡大と福祉の向上に取り組むシルバー人材センターに対し、各種事業や運営に要する経費を助成する。 (2)就労促進ガイドブックの発行 高齢者雇用に関するセミナー等の情報を掲載した紹介冊子を発行(8,000部) | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料 3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|---------------------|-------|--|------------------|---|----------|------------------|--|------------|---|----------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 239 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | 若年者就職サポート事業 | 16年度～ | 若年者の雇用状況の改善を図るため、求人数の減少や雇用面のミスマッチなどの課題に対応した取組みを実施する | 975 | (1)求人開拓 市職員が直接経済団体(19団体)を訪問し雇用枠拡大を要請 (2)キャリア形成ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部) (3)高校生ステップアップセミナーの開催 就職を希望する市内高校3年生を対象に面接試験の対応研修等を開催 【平成28年度実績】 10校 797人参加 (4)鹿児島市新就職者激励大会の開催 市内の事業所に就職する新規学卒者を対象者に社会人としての基礎研修や講演等を開催 【平成28年度実績】 55事業所 182人 | ○ | 1,024 | (1)求人開拓 市職員が直接経済団体を訪問し雇用枠確保等を要請 (2)キャリア形成ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部) (3)高校生ステップアップセミナーの開催 就職を希望する市内高校3年生を対象に面接試験の対応研修等を開催 【平成29年度実績】 11校 720人参加 (4)新就職者激励大会の開催 市内の事業所に就職する新規学卒者を対象者に社会人としての基礎研修や講演等を開催 | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 240 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | 若年者等雇用促進助成事業 | 21年度～ | 雇用環境の厳しい若年者等の正規雇用の機会を拡大するため、国のトライアル雇用事業によりトライアル雇用した市内事業主に対し、支援金を支給する。 | 8,077 | トライアル雇用支援金を支給した。 <対象労働者> 市内に住所を有し(住民登録があること)、国のトライアル雇用事業または障害者トライアル雇用事業により市内に事業所を有する事業主に雇用された者。ただし、申請日において引き続き対象労働者を雇用していること。 <支援金の額> 1人最大6万円。ただし、障害者トライアル雇用事業により雇用された者の場合、最大12万円。 ※母子・父子家庭の対象者等については、別途加算あり 【28年度実績】 107事業所 115人 | ○ | 9,859 | トライアル雇用支援金を支給する。 <対象労働者> 市内に住所を有し(住民登録があること)、国のトライアル雇用事業または障害者トライアル雇用事業により市内に事業所を有する事業主に雇用された者。ただし、申請日において引き続き対象労働者を雇用していること。 <支援金の額> 1人最大6万円。ただし、障害者トライアル雇用事業により雇用された者の場合、最大12万円。 ※母子・父子家庭の対象者等については、別途加算あり | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 241 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | 障害者技能向上支援事業 | 25年度～ | 障害者の雇用促進につなげるため、特別支援学校の生徒を対象に技能体験教室を実施し技能向上の機会を提供するとともに、職業技能を競い合うアビリンピック出場を目指す従業員を雇用している事業主に対し技能習得に要する経費を助成する。 | 375 | 【28年度実績】 ・技能体験教室の開催 2回(13名参加) ・職場見学の開催 2回(9名参加) ・障害者技能向上奨励金の支給 支給件数:2事業所 支給金額:55,701円 ・障害者技能労働者奨励金の支給 3人 | ○ | 388 | ・技能体験教室の開催 ・障害者技能向上奨励金の支給 ・障害者技能労働者奨励金の支給 | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 242 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | ものづくり職人育成支援事業 | 27年度～ | ものづくり分野の技能継承、技術力向上等を図るとともに、市内事業所の人材育成を支援するため、本市職業訓練センターで実施する職業訓練にかかる経費の一部を助成する。 | 853 | ものづくり職人育成支援金を支給した。 (対象者) 市内に事業所を有する事業主であって、当該事業所で雇用する従業員に、鹿児島市職業訓練センターに(職)鹿児島市職業訓練協会が設置する鹿児島高等技術専門学校で実施する職業訓練を受講させ、その職業訓練に係る経費を負担する者。 (対象経費) 事業主が支払った訓練校の入学金及び授業料 (補助率) 2分の1 【平成28年度実績】 24事業所 30人 | ○ | 1,023 | ものづくり職人育成支援金を支給する。 (対象者) 市内に事業所を有する事業主であって、当該事業所で雇用する従業員に、鹿児島市職業訓練センターに(職)鹿児島市職業訓練協会が設置する鹿児島高等技術専門学校で実施する職業訓練を受講させ、その職業訓練に係る経費を負担する者。 (対象経費) 事業主が支払った訓練校の入学金及び授業料 (補助率) 2分の1 | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 243 | 新規 | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | かごしまで働きたい若者応援会議運営事業 | 29年度～ | 18歳人口をはじめとする若者の流出抑制に向け、産学官連携による推進体制を整備し、地元定着やUターンを図るための地元産業及び企業等の魅力発信や職業教育における地域貢献の意識醸成等への取組の推進について検討を進める。 | — | — | — | 324 | かごしまで働きたい若者応援会議の開催 ・第1回会議開催(7月27日) ・第2回会議開催(11月予定) | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 244 | 新規 | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | 働きたい女性の就活応援事業 | 29年度～ | 働く意欲のある女性の再就職等の促進を図るため、職場面談会やセミナーを実施し、離職期間があることに伴う不安等の解消を図りながら就職活動をサポートする。 | — | — | — | 1,367 | ・働きたい女性のためのツアー型職場面談会&就職支援セミナーの開催 ※面談会:定員6名、開催回数8回/年 ※就職支援セミナーについては、ハローワークが開催するセミナーでの受け入れ ・本市子育て交流施設等を活用したミニ講座の開催 | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 245 | 新規 | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | 連携中枢都市圏合同企業説明会開催事業 | 29年度～ | 連携中枢都市圏を形成する4市で合同企業説明会を開催し、圏域全体で人材の確保や雇用機会の拡大を図る。 | — | — | — | 2,346 | 合同企業説明会の開催 ・開催場所:鹿児島市(県民交流センター) ・開催時期:平成30年1月(予定) ・出店企業数:40前後(予定) | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 246 | 新規 | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | しごと情報ポータルサイト構築事業 | 29年度～ | 国や県、関係機関を含めた市内の仕事に関する情報をワンストップで提供するポータルサイトを構築し、雇用機会の拡大につなげる。 | — | — | — | 973 | ポータルサイト開設時期:平成29年10月31日(予定) | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
 ○: 概ね達成された(70%以上)
 △: あまり達成されなかった(70%未満)
 -: H28の実施事業なし

資料3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取り組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容 (予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|--------|----------|--------|---------|-----------------------------|-------|--|------------------|---|----------|------------------|--|------------|---|-----------------|---|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 247 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | 鹿児島県地域ジョブ・カードセンター事業 | 20年度～ | 地元企業のニーズに合った人材を育成するため、厚生労働省の委託事業であるジョブ・カード事業を受託する。 ①新ジョブ・カード制度の周知広報 ②ジョブ・カード普及サポーター企業の開拓・登録 ③ジョブ・カードを活用した雇用型訓練の実施企業の開拓・支援 ④ジョブ・カードを活用した在职労働者の実務経験の評価を実施する企業の開拓・支援 ⑤在職労働者にジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティング等を実施する企業の開拓・支援 | — | ・訓練計画確認済事業所:290コース ・訓練開始件数:241コース ・ジョブ・カード普及サポーター企業登録事業所:658コース | ◎ | — | 継続実施 | 未定 | — | 商工会議所 | |
| 248 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | 鹿児島県若者就職サポートセンター(厚生労働省委託)事業 | 22年度～ | 地元企業の人材確保、若年者の雇用拡大を図るため、厚生労働省の委託事業である若年者地域連携事業を受託し、若年者を対象とする企業説明会の開催やカウンセリング、職場定着支援を行う。ヤングハローワークとの併設により若年求職に対するワンストップ機能及びサービスの提供を行う。 ①若年者地域連携事業 ・若年者の採用拡大のための広報・啓発 ・若年者に対する企業説明会の実施 ・就職活動支援講座 ・企業交流セミナー ・面接力アップセミナー&実践コース ・コミュニケーションスキルアップ講座 ・就職内定者に対する講習会、職場定着支援講座 など | — | ・センター利用の登録 新規登録2,098人、就職者数1,654人 ・カウンセリングの実施 相談件数2,098件 | ○ | — | 継続実施 | 未定 | — | 商工会議所 | |
| 249 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | そうしんカバン持ち体験事業 | 23年度～ | 学生が企業の社長を初めとした経営幹部の“カバン持ち”をすることで一日中行動を共にし、企業トップの行動や発言に直接触れ、その体験をもとに「自己の将来の“キャリアデザイン”」を考えるというインターンシップとして開催する。 | — | 以下の日程で開催予定 ・受入企業向け事前説明会:平成28年7月15日 ・事前学習:平成28年8月8日・9日 ・企業研修:平成28年8月20日～9月14日の期間内3日間 ・研修報告書提出:平成28年9月28日 ・研修報告会:平成28年10月中旬 | ◎ | — | 以下の日程で開催予定 ・受入企業向け事前説明会:平成29年7月14日 ・事前学習:平成29年8月7日・8日 ・企業研修:平成29年8月21日～9月15日の期間内3日間 ・研修報告書提出:平成29年9月29日 ・研修報告会:平成29年10月中旬 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | 鹿児島国際大 |
| 250 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | かごしまIT就職フェア | 25年度～ | 人材不足に悩む県内IT企業が学生にPRする場を提供するとともに、IT系企業への就職を望む学生等を支援する。 就職支援等を通して鹿児島市経済の活性化、インキュベーション施設(ソフトプラザかごしま)の周知を図る。 | — | 未実施 | ○ | — | 未定 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | ・鹿児島市 ・(一社)鹿児島県情報サービス産業協会 |
| 251 | | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | かごしまIT業界セミナー | 25年度～ | 人材不足に悩む県内IT企業が、学生に自社の取組・活動内容をPRする場を提供するとともに、IT業界に対する興味喚起を図り、学生・一般の方と企業の人材マッチングをフォローする。また、ソフトプラザかごしままでの開催により、同施設の周知を図る。 | — | 15社を招いて実施済(ソフトプラザかごしまにて) | ○ | — | 未定 | 継続予定 | — | 鹿児島相互信用金庫 | ・鹿児島市 ・(一社)鹿児島県情報サービス産業協会 ・(株)マチトピラ |
| 252 | | 4 | 3 | 3 | 3 | | | | 中小企業UIターン人材確保支援事業 | 28年度～ | 市内の中小企業者等の人材確保を支援することによる地域産業の振興と定住人口の増加を図る。 | 1,668 | <対象者> 次のいずれの要件も満たす市内の中小企業者等 ・納期の到来している市税を完納 ・市内に主たる事業所を有する ・雇用保険の適用事業所 ・暴力団に関与していない <補助率・上限等> ・補助対象経費(参加負担金及び旅費)の1/2 ・同一の事業所に対して上限10万円 【平成28年度実績】 22事業所 補助金額:1,655,000円 | ○ | 2,013 | <対象者> 次のいずれの要件も満たす市内の中小企業者等 ・納期の到来している市税を完納 ・市内に主たる事業所を有する ・雇用保険の適用事業所 ・暴力団に関与していない <補助率・上限等> ・補助対象経費(参加負担金及び旅費)の1/2 ・同一の事業所に対して上限10万円 | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 253 | | 4 | 3 | 3 | 3 | | | | UIターンフェア“かごしま”&県内就職合同面接会 | — | 県内企業の人材確保と、鹿児島県へのUIターン希望者の就職を促進するため、就職面接会を開催する。 | 1,162 | ・8月12日開催(鹿児島市) 参加企業:80社、参加求職者:337人 | ○ | 1,530 | ・8/10開催(鹿児島市) ・参加企業100社、参加求職者300人 | 継続予定 | — | 県(雇用労政課)、鹿児島労働局 | |
| 254 | | 4 | 3 | 3 | 3 | | | | ふるさと人材相談室の運営 | — | 県内企業の人材確保を図るため、東京、大阪及び鹿児島において、県内企業の中核的な人材となるようなUIターン希望者を対象とした無料職業紹介を実施する。 | 5,451 | (事業実績) ・県内企業とUIターン希望者に対する無料職業紹介の実施 ・県ホームページや、リーフレットの作成・配布による事業のPR ・企業訪問による求人開拓 等 | ○ | 5,832 | 継続実施 | 継続予定 | — | 県(雇用労政課) | |

【資料3】各事業の概要等一覧

白抜き: 鹿児島市、青網掛: 関係機関

◎: 十分に達成された(100%以上)
○: 概ね達成された(70%以上)
△: あまり達成されなかった(70%未満)
-: H28の実施事業なし

資料3

| No. | 新規・拡充 | 振興の方向性 | 基本方針 | 推進施策 | 主な取組み | 戦略プロジェクト | | | 事務・事業名 | 事業期間 | 事業概要 | 事業費(千円) 28決算額 | 28年度の実施内容 | 28年度事業評価 | 事業費(千円) 29予算額 | 29年度の実施内容(予定含む) | 30年度以降(予定) | | 実施主体(所管) | 関係機関等 |
|-----|-------|--------|------|------|-------|----------|--------|---------|-------------------------|--------|--|------------------|--|----------|------------------|--|------------|---|----------|-------|
| | | | | | | 1 食の都 | 2 外貨獲得 | 3 新産業創出 | | | | | | | | | 拡充要素(予定) | | | |
| 255 | | 4 | 3 | 3 | 4 | | | | 中小企業退職金共済掛金補助事業 | S52年度～ | 市内中小企業の中小企業退職金共済制度及び特定退職金共済制度への新規加入を促進することにより、中小企業勤労者の福祉の増進に寄与する。 | 4,640 | <対象者> 次の要件を全てに該当する共済契約者(事業主) ・市内に事務所または事業所を有する者 ・新規に共済契約を締結した月から引き続いて12か月分の掛金を納付している共済契約者 <補助金額> 被共済者1人につき、掛金の額(掛金の額が5,000円を超える時は5,000円)の12か月分に相当する額に100分の20を乗じて得た額 【平成28年度実績】 67事業所 280人 | ○ | 4,857 | <対象者> 次の要件を全てに該当する共済契約者(事業主) ・市内に事務所または事業所を有する者 ・新規に共済契約を締結した月から引き続いて12か月分の掛金を納付している共済契約者 <補助金額> 被共済者1人につき、掛金の額(掛金の額が5,000円を超える時は5,000円)の12か月分に相当する額に100分の20を乗じて得た額 | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 256 | | 4 | 3 | 3 | 4 | | | | 中小企業勤労者総合福祉推進事業 | 5年度～ | 本市の中小企業勤労者に総合的な福利厚生事業を提供する(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターを育成することにより、中小企業勤労者の工場を図るとともに中小企業の振興、地域社会の活性化に寄与する。 | 13,615 | (公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営等に係る経費の一部を助成した。 | ○ | 14,340 | (公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営等に係る経費の一部を助成する。 | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 257 | | 4 | 3 | 3 | 4 | | | | 勤労者交流センター管理運営事業 | 12年度～ | 勤労者の余暇活用の充実と相互交流を促進するため、勤労者交流センターを設置する。 | 70,993 | [管理運営] ・委託先:(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンター ・業務内容:施設の維持管理、施設等の使用許可、使用料の収納 など | ○ | 71,538 | [管理運営] ・委託先:(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンター ・業務内容:施設の維持管理、施設等の使用許可、使用料の収納 など | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 258 | | 4 | 3 | 3 | 4 | | | | ワーク・ライフ・バランスを目指す事業所応援事業 | 28年度～ | 男女がともに、子育て・介護など人生の各段階において働きやすい職場づくりを促進するとともに、労働力人口が減少する中で期待される女性の再就労や就労継続に寄与する。 | 265 | (1)本市版「ワーク・ライフ・バランス推進リーフレット」の発行 発行部数 5,000部 (2)鹿児島労働局との連携による人事・労務管理担当者向けセミナーを開催 (3)市内事業所への無料のコンサルタント派遣 3事業所(延べ8回派遣) | ○ | 241 | (1)ワーク・ライフ・バランス推進のリーフレットの発行 (2)鹿児島労働局との連携による人事・労務管理担当者向けセミナーの開催 (3)市内事業所への無料のアドバイザー派遣 | 継続予定 | — | 雇用推進課 | |
| 259 | | 4 | 3 | 3 | 4 | | | | 子育て応援企業登録事業 | — | 一般事業主行動計画(次世代育成支援対策推進法に基づく。)を策定し、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業を「かごしま子育て応援企業」として登録し、広く県民に紹介することで社会的に評価される仕組みを作り、県内企業の子育て支援に対する自主的な取組を促進する。 | 389 | ・平成29年3月31日現在の登録企業数:377社 | ◎ | 389 | 継続実施 | 継続予定 | — | 県(雇用労政課) | |